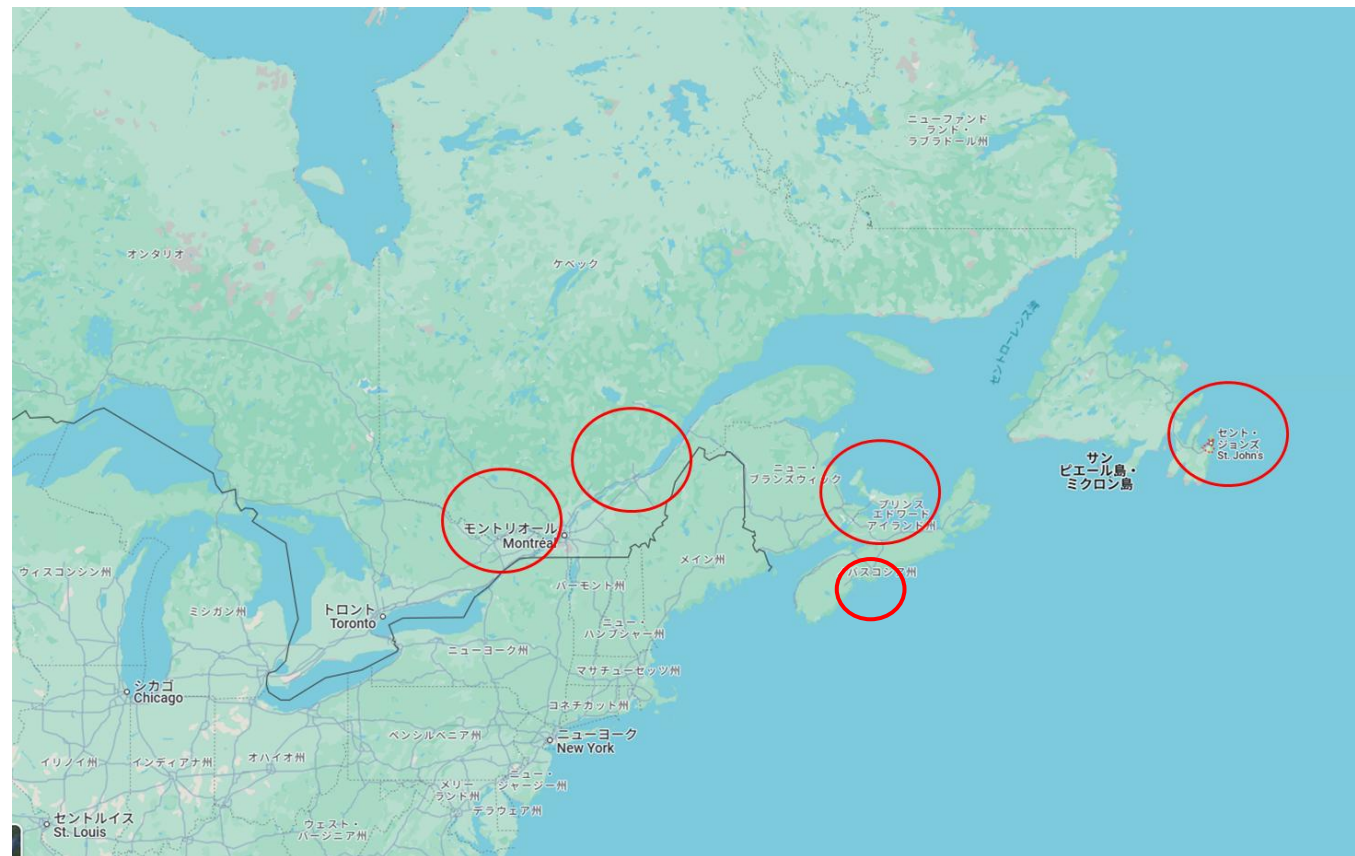


2025/6/25 (水)
インターネット世界旅行

インターネット世界旅行 カナダ東部地方の巻

1. ケベック・シティ
2. モントリオール
3. プリンス・エドワード島
4. ノバスコシア州・ハリファックス
5. セント・ジョーンズ



吉岡 芳夫

カナダ東部の観光名所 5つ

1. ケベック・シティ (Québec City)

歴史ある旧市街（オールド・ケベック）はユネスコ世界遺産に登録。石造りの建物や城壁、シャトー・フロントナックホテルなど、まるでヨーロッパにいるような雰囲気です。おすすめの季節：秋の紅葉、冬の雪景色もロマンチック。

2. モントリオール (Montréal)

フランス語圏の文化とモダンアート、グルメが融合する都市。ノートルダム大聖堂や旧市街、モン・ロワイヤル公園などがあります。イベント：夏のジャズ・フェスティバルや冬の光の祭典なども有名です。

3. プリンス・エドワード島 (Prince Edward Island)

「赤毛のアン」の舞台。緑の丘、赤い砂浜、可愛らしい家々が魅力。体験：地元のシーフード（ロブスターやムール貝）も絶品です。

カナダ東部の観光名所 5つ（続き）

4. ノバスコシア州・ハリファックス（Halifax）

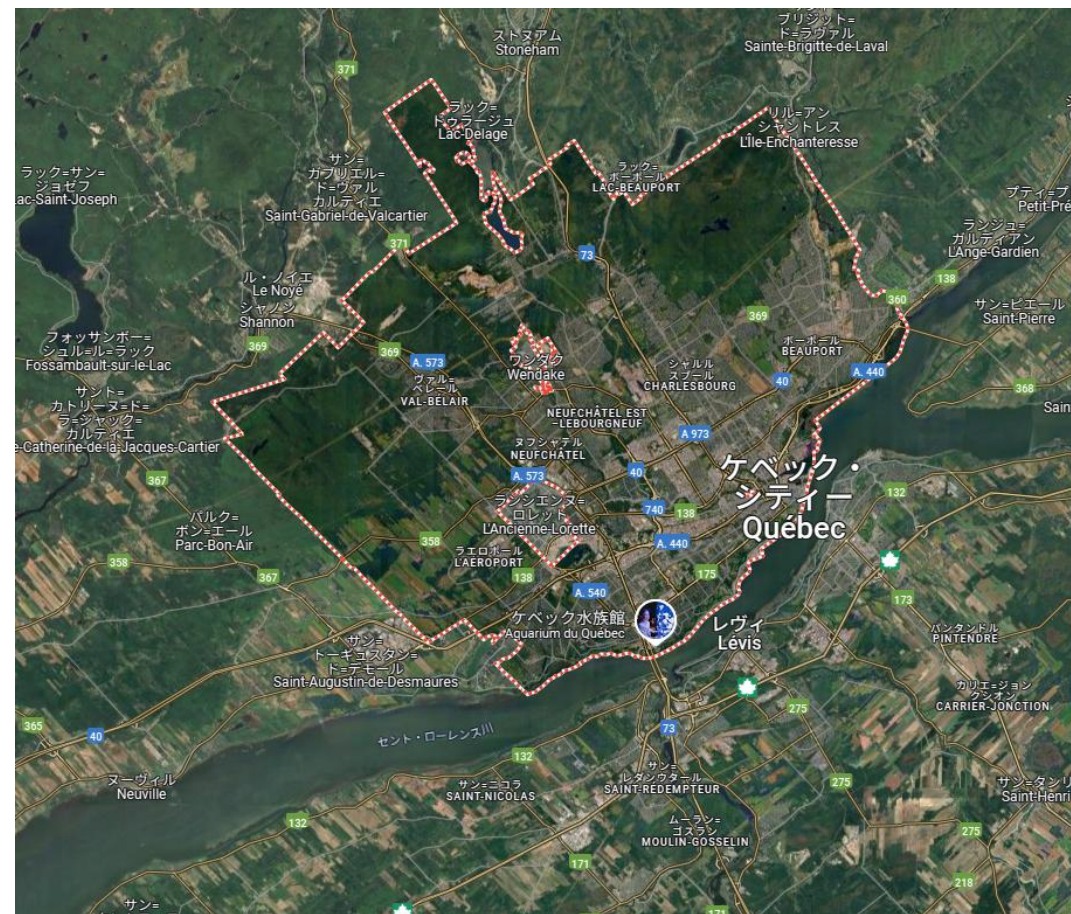
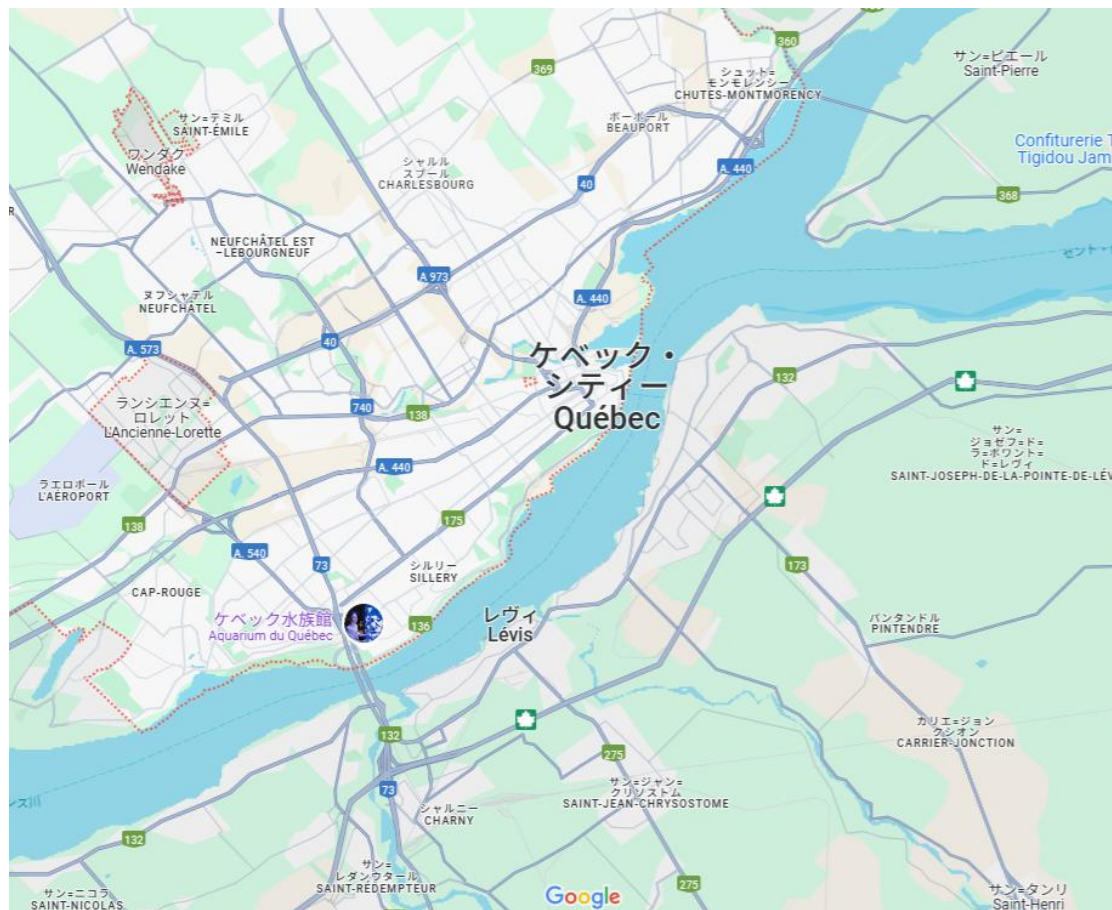
大西洋沿岸にある港町。歴史ある要塞「シタデル」や港の散歩道、タイタニック号の墓地などがあります。周辺：絵のように美しい漁村「ペギーズ・コーブ」もぜひ訪れてください。

5. セント・ジョーンズ（St.John's,Newfoundland）

カナダ最東端の都市。カラフルな街並みと北大西洋の絶景が見どころ。おすすめ：ジョージアンスコーブやシグナルヒルからの眺めは圧巻です。

ケベック・シティ (Québec City)

ケベック・シティー - Google マップ



Google Earth

ケベックシティは旧市街全体が世界遺産のカナダの街！
観光スポットやアクセスを紹介 | NEWT（ニュート）



カナダのケベック州にあるケベックシティ。中でも旧市街は街全体が世界遺産に登録されています。フランスの文化が色濃く残り、「北米のパリ」とも呼ばれる人気の観光地です。

古い街並みと建物、石畳の道などが昔ながらのフランスらしさをかもしだしている様子は、ケベックシティの魅力そのものです。

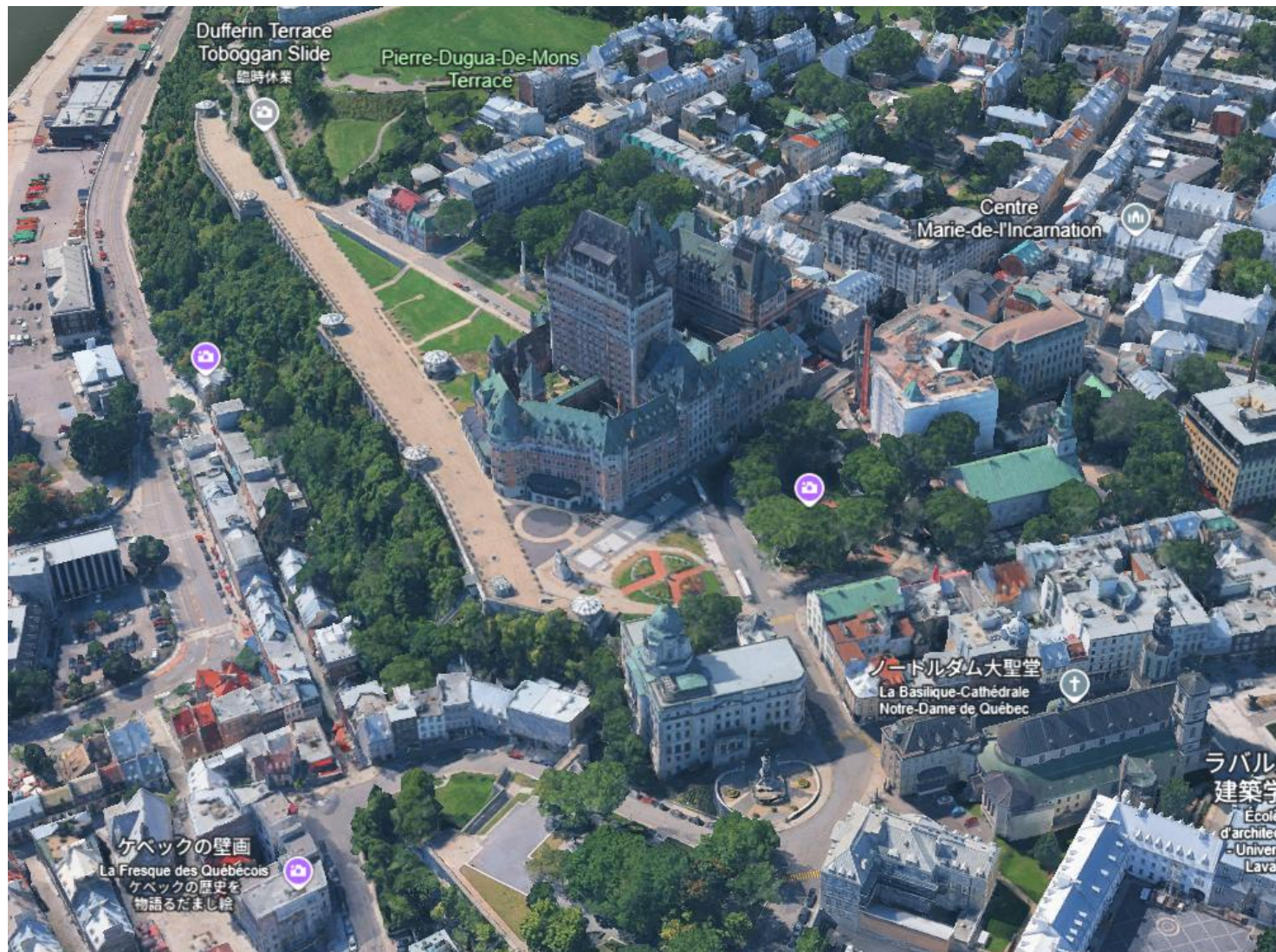
Residence of the Governor General at the Citadelle -
Google マップ





ケベック州の州都で、セント・ローレンス川とサン・シャルル川が合流する川沿いにあるケベックシティは、フランスとイギリスが植民地化を巡り覇権を争っていた時代の影響から、ダイヤモンド岬と呼ばれる絶壁の上に築かれたアッパー・タウンと、崖下のロウワー・タウンに分かれています。城壁に囲まれた旧市街は、北米で唯一現存する城壁都市として現在は街全体が世界遺産に登録されています。

Google Earth



ケベックシティの歴史と街の特徴



歴史的な建造物が多く、街歩きをするだけでも楽しいケベックシティ。

街がコンパクトなので、徒歩で気軽に観光できるのも魅力のひとつです。

ここではケベックシティを訪れたら必ず立ち寄りたい有名観光スポットからインスタ映えが狙える絶景ポイントまで、人気の観光スポットを紹介します。

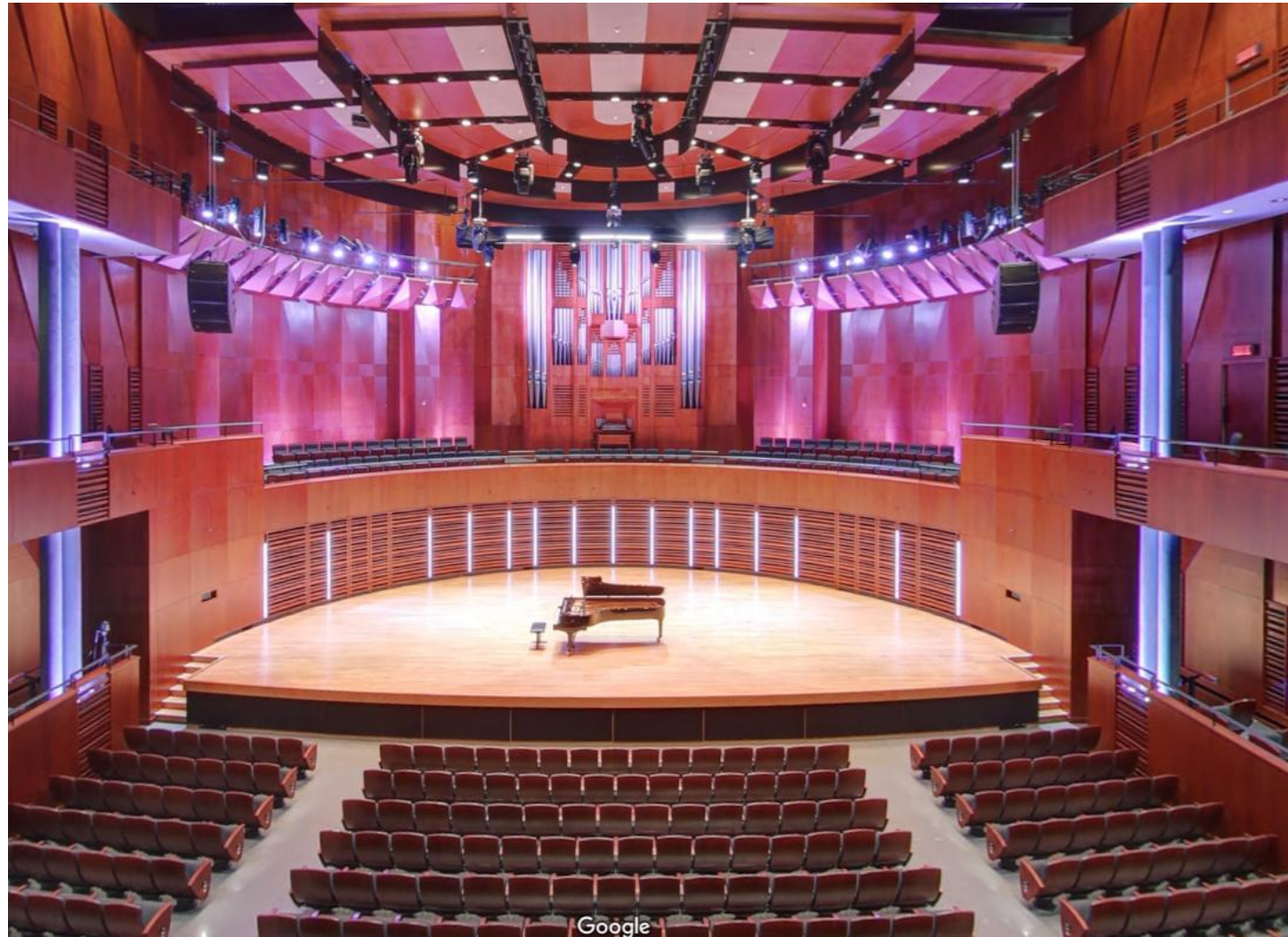
エスプラナード公園



アッパー・タウンの城壁にある、ドフィーヌ門とサンルイ門の間に広がっている公園です。小高い丘の上にあるため、天気の良い日はセント・ローレンス川や街のランドマーク、フェアモント・ル・シャトー・フロンテナックが見下ろせる絶景スポットとして知られています。

最近では、日本でも人気のある韓国ドラマ『トッケビ』のロケ地として知られており、ドラマの中に登場した公園内にある噴水前で記念撮影を楽しむ観光客の姿も多く見られます。

Palais Montcalm – Maison de la musique - Google マップ



プチ・シャンプラン通り

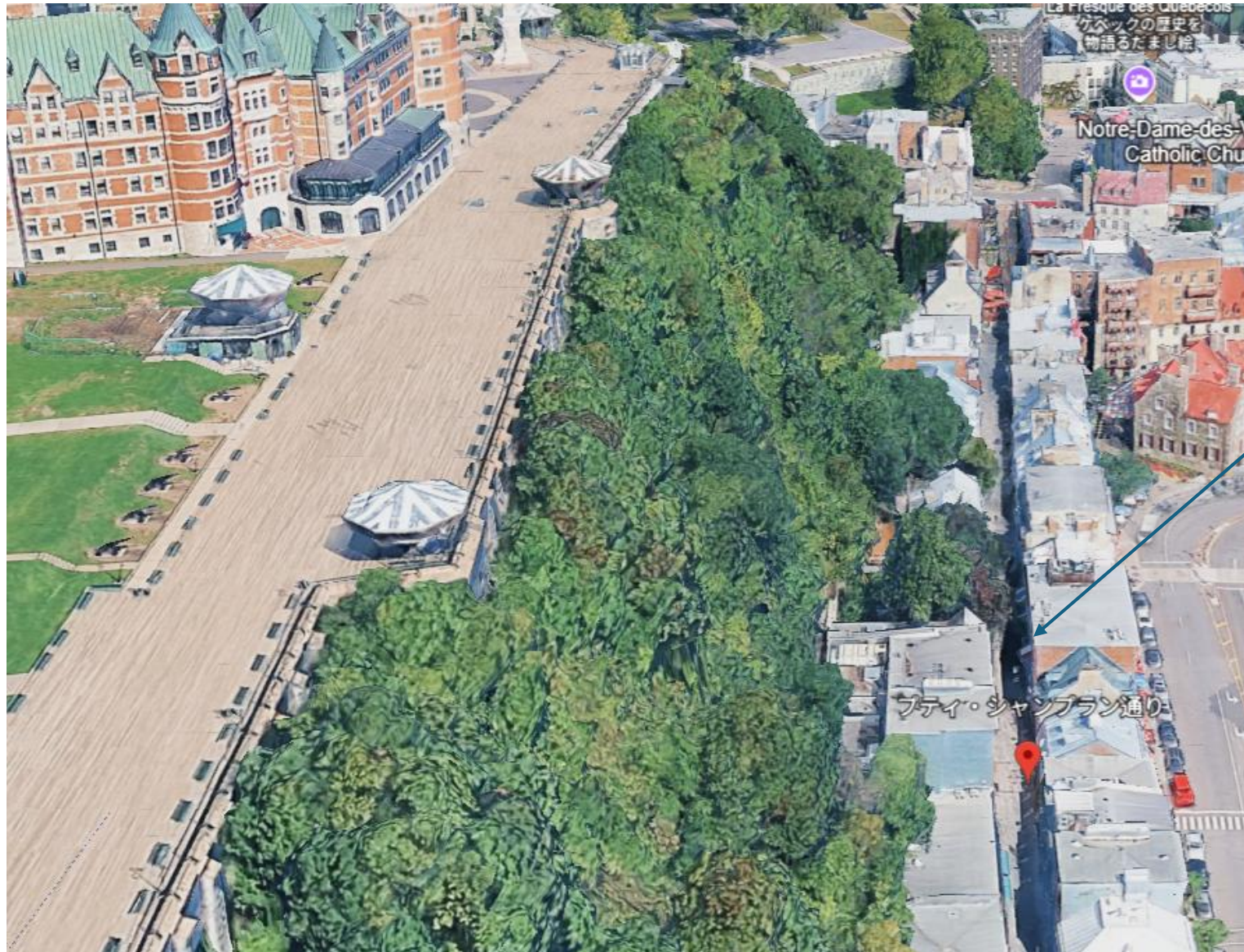


ケベックシティを建設したフランスの探検家サミュエル・ド・シャンプランからその名が付けられたプチ・シャンプラン通り。プチ・フランスとも呼ばれる、ケベックシティの中でもとくにフランス植民地時代の雰囲気を残しているケベックシティ歴史地区にある。

北米最古の繁華街としても知られる長さ300メートルほどの石畳が続くこの通りには、ケベックシティらしい雰囲気のある飲食店やカフェ、みやげ物店が50軒以上も集まっています。

どこを写してもインスタ映え确实のスポットですが、なかでもクリスマスシーズンは通り全体がライトアップされ、中世のヨーロッパに紛れ込んだような気分を味わうことができますよ！

Google Earth



プチ・シャンプラン通り

98 プティ・シャンプラン通り - Google マップ



フェアモント・ル・シャトー・フロンテナック

Google Earth



ケベックシティのランドマークとなっている、フェアモント・ル・シャトー・フロンテナックは、実は現在も稼働しているホテルです。

数多くの映画やドラマの舞台として使われており、世界中のセレブたち愛用のホテルとしても知られています。

創業は1893年で、フレンチロマネスク調の建物はそれだけでも見る価値がありますが、ここから見下すセント・ローレンス川を含む風景はまさに絶景です。

首折り階段

10 プティ・シャンプラン通り - Google マップ



首折りという何やら恐ろしげな名前が付けられた階段ですが、実際にはアッパー・タウンとローワー・タウンを結ぶ、モンターニュ坂の途中からプチ・シャンプラン通りへ続くごくありふれた階段です。

首折りの名前の由来は、建設当初は今より階段の勾配がきつく、もし落ちたら首が折れてしまいそうだという意味をこめてそう呼ばれるようになったと伝えられています。

ケベック州議事堂

[Google Earth](#)



1886年に建築されたケベック州議事堂は、火成岩が多く使われていることで独特のモザイク模様になっているフランス・ルネッサンス様式の建物です。ケベック州の歴史に残る22人の人物の銅像があるほか、ケベック州のモットー「Je me souviens（わたしは忘れない）」という言葉が刻まれたレリーフがあるなど、観光ポイントも数多くあります。

建物のシンボリック存在ともなっている高さ約50mの中央尖塔は展望台になっているほか、夏には館内の無料ガイドツアーが催行されています

ノートルダム大聖堂

[ノートルダム大聖堂 - Google マップ](#)



アッパー・タウンに建ち、聖母マリアの生涯を描いた美しいステンドグラスがあることでも知られるノートル・ダム大聖堂。

350年の歴史をもち、サミュエル・ド・シャンプランといった、ケベックシティの歴史を語る上で欠かせない歴史上の人物たちもここに眠っています。

英仏による覇権争いの歴史を表すように、何度も破壊と再建が繰り返され、現在の建物は1925年に建立されたものです。

聖堂内には、ルイ14世から贈られた祭壇のランプなど貴重な美術品があることでも知られています。

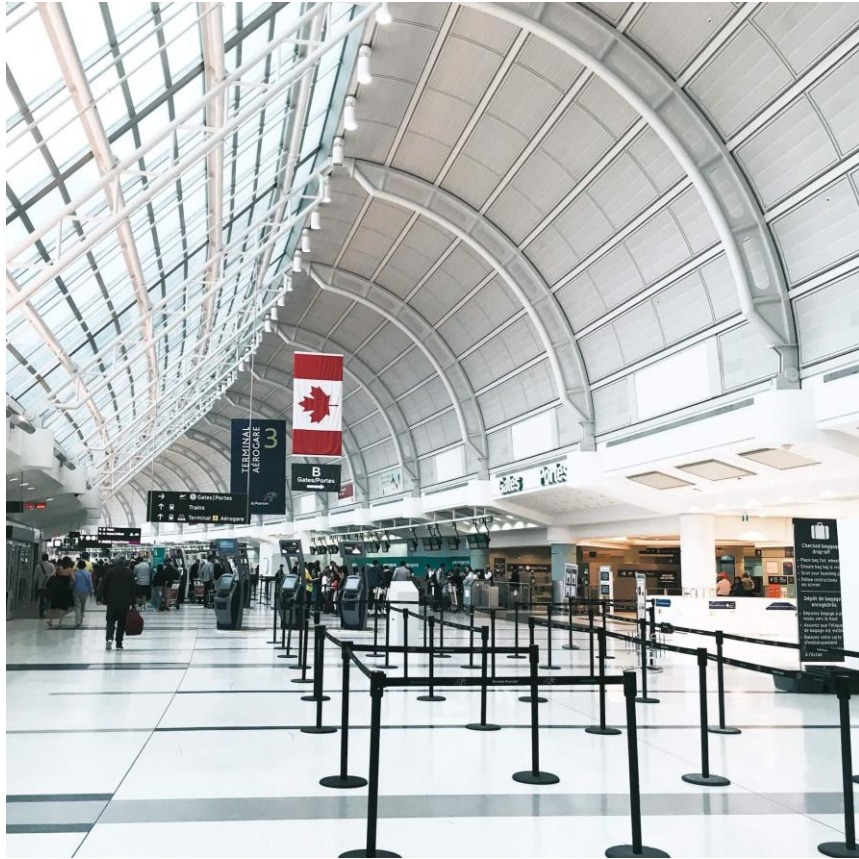
ベストシーズンは快適に過ごせる6～10月





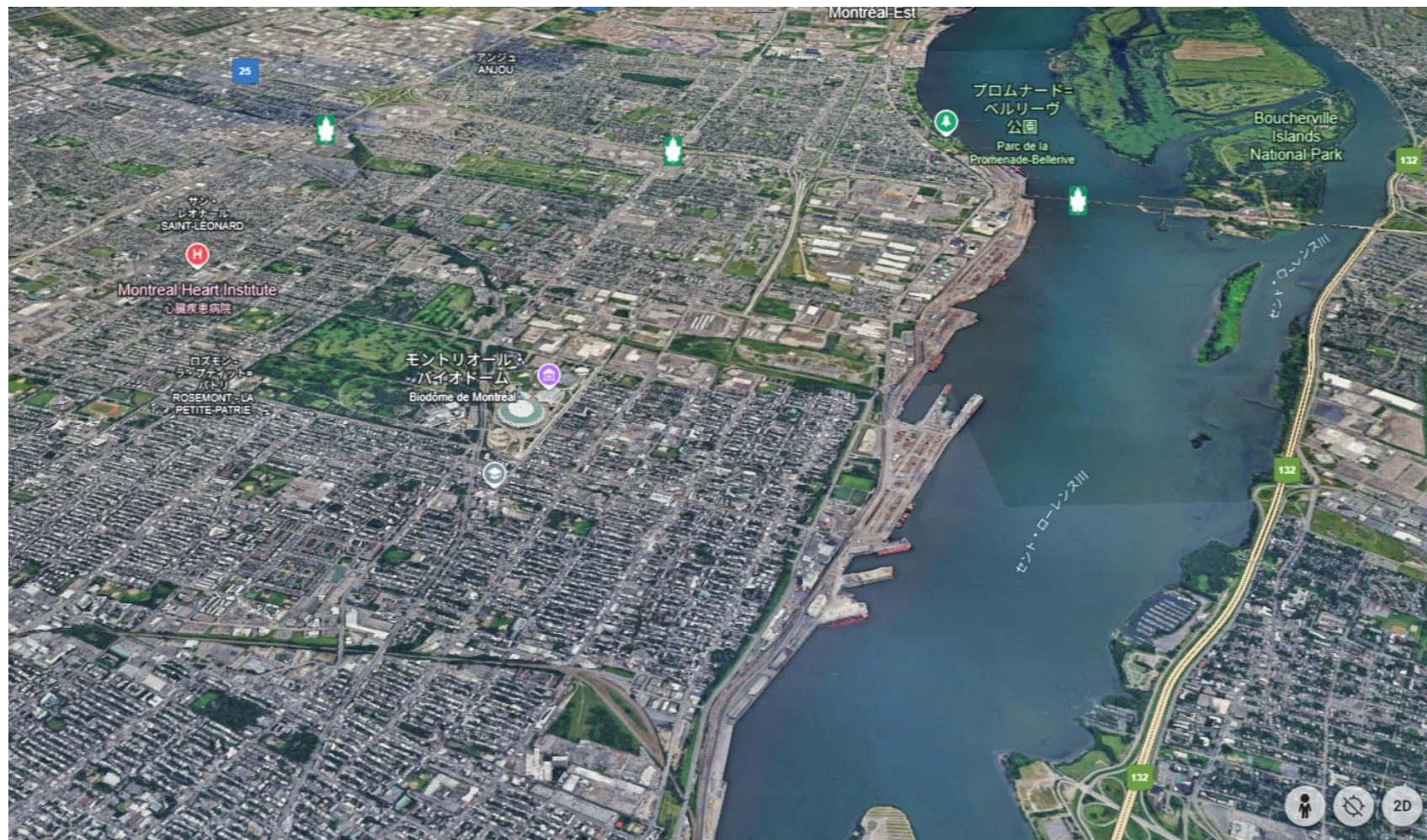
11～3月は平均最低気温が氷点下を下回るほど寒くなるため観光には不向きですが、美しい街並みが雪景色に彩られる風景は、この時期に訪れた観光客しか見ることができないまさにギフトです。特にクリスマスシーズンは街中がライトアップされ、その美しさは格別です。

ただし、この時期に訪れる際にはしっかりとした防寒対策は必須！厚手のコート、マフラー、手袋、帽子、そして降雪も多いのでスノーブーツを用意すると安心ですよ。



モントリオール

Google Earth



モントリオールの観光名所

- ノートルダム大聖堂
- 旧市街（オールド・モントリオール）
- モン・ロワイヤル公園
- モントリオール美術館
- 聖ジョゼフ礼拝堂
- 旧港
- マギル大学
- モントリオール植物園
- プラトー モン ロワイヤル
- 世界の女王マリア大聖堂

カナダ第二の都市、モントリールの押さえておくべき人気観光スポット・名所をご紹介します！

美麗荘厳な大聖堂はもちろん、写真映えするエリアや自然豊かな公園やなど、モントリオールを知り尽くしたプロのクチコミを元に、厳選した観光情報をまとめました。

中世ヨーロッパの雰囲気が漂うモントリオールでのおすすめは街散策♪ お気に入りのスポットを見つけてみてください。

ノートルダム大聖堂

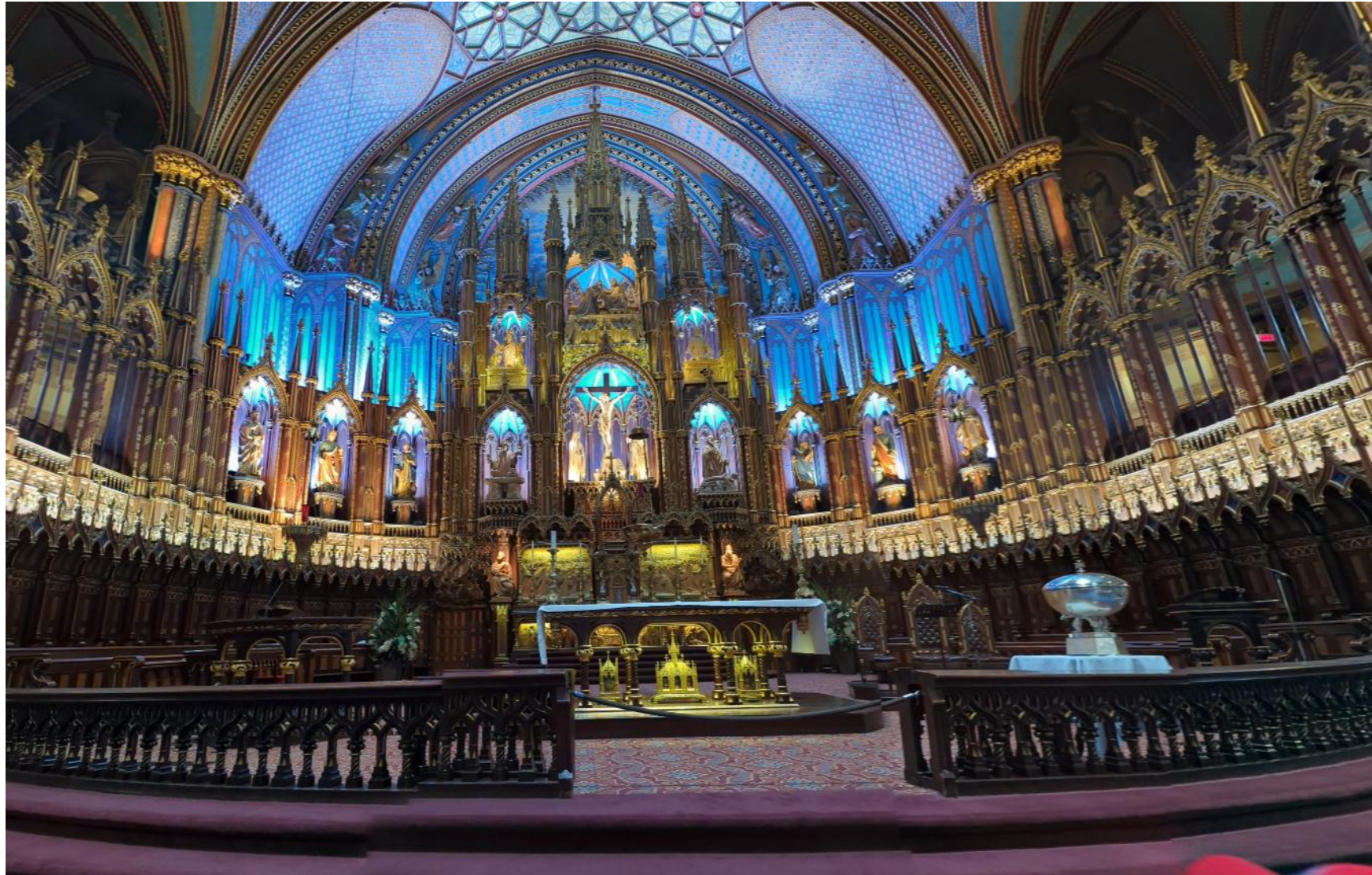


モントリオールの歴史地区、旧市街に建つノートルダム大聖堂は1829年に建築されたネオゴシック様式のバシリカ聖堂で、世界中から数多くの人を訪れる人気の観光スポットになっています。

最大の特徴は想像を絶するゴージャスな内部装飾。

青いライトに照らされた黄金の祭壇、濃い青色と金色の星で装飾された天井、赤、紫、銀色の装飾が施された柱など、この世のものとは思えない豪華さに驚かされます。

モントリオール・ノートルダム聖堂 - Google マップ



モントリオール・ノートルダム聖堂 - Google マップ



壁一面を占める巨大なパイプオルガンは7,000本のパイプで構成されていて、最大のパイプの長さは約10mもあります。陽光に輝く美しいステンドグラスは、1929年の100周年記念に取り付けられたもので、ケベック州のアーティストにより、モントリオールの街の成り立ちが描かれています。

ダルム広場を見下ろすようにそびえる2本の鐘楼もノートルダム聖堂の大きな特徴です。

ノートルダム大聖堂

[Google Earth](#)

[119 アルム広場 - Google マップ](#)



ダルム広場を見下ろすようにそびえる2本の鐘楼もノートルダム聖堂の大きな特徴です。

設計を担当したのは、ニューヨークのプロテスタント建築家ジェームズ・オドネルで、パリのノートルダム大聖堂とサン・シュルベス教会から着想を得たといわれています。

1824年に建設が始まり1829年に完成したのですが、そのとき鐘楼はどちらも未完成。西側の鐘楼は1841年に、東側の鐘楼は1843年にそれぞれ完成しました。

オドネルはこの鐘楼を目にすることなく、カトリックに改宗した後1830年に亡くなり、現在は大聖堂の地下で眠っています。

旧市街（オールド・モントリオール）



モントリオールの旧市街（オールド・モントリオール）は1642年に築かれ、町の発祥の地といわれる歴史地区です。当時からの建物や石畳の通りが今もそのままの姿を留めており、ヨーロッパの街並みを思わせる風景が訪れる人々を魅了しています。

この地区で最大の観光スポットが、北米最大規模のカトリック教会であるノートルダム大聖堂。。

また、オールド・ポートと呼ばれる海岸沿いの旧港では、屋外イベントや音楽フェスティバルが開催され、地元の人や観光客でにぎわいます。レストランやカフェ、ショップなども建ち並び、一日中楽しむことができます。

モン・ロワイヤル公園



モントリオール島の中央、ダウンタウンの西にある標高約233mの小高い丘がモン・ロワイヤルです。ヨーロッパ人として最初に現在のモントリオールに到達したジャック・カルティエが、豊かな景色と王に敬意を表して、モン・ロワイヤル（フランス語で王の山）と名付け、これが都市名「モントリオール」の由来といわれています。

モン・ロワイヤルのほぼ全体に広がるモン・ロワイヤル公園は、ニューヨークのセントラルパークを手掛けた造園家フレデリック・ロー・オムステッドによって設計され、1876年に公園として整備されました。

広大な園内にはいくつかの観光ポイントがありますが、いちばんのおすすめは、ダウンタウンの全景からセントローレンス川周辺までのダイナミックな景色が見渡せる展望台コンディアロンク・ベルベデーレです。

夕暮れ時はとてもロマンチックで、地元の人には人気のデートスポットになっています。



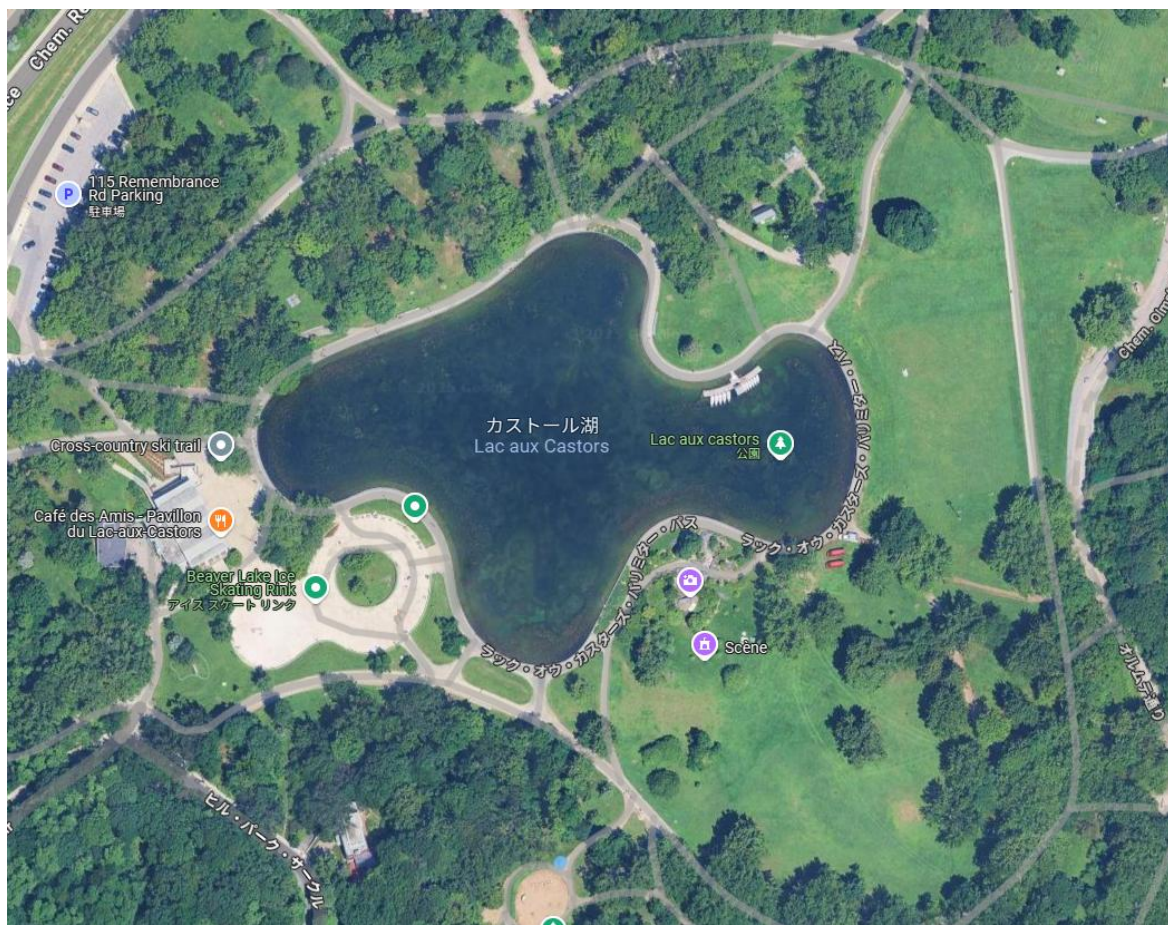
展望台は、丘の頂上に建つ石造りの建物、シャレー・ド・モンターニュの裏手に位置しています。

建物内には、大きな暖炉とシャンデリア、壁にはモンリオールの歴史の一部を描いた絵画が飾られており、ギフトショップやレストランなどもあります。

展望台へは地下鉄オレンジラインのモン・ロワイヤル駅から市バス11番で行くことができます。徒歩だと地下鉄グリーンラインのPeel駅から約30分です。



展望台から10分ほど上がった先には、高さ約33mの鉄の十字架が立っています。この十字架は1924年に建立されたもので、夜になるとライトアップされ、ダウンタウンからも見ることができます。



公園西側には四つ葉のクローバーのような形をした人工湖、ビーバー湖があります。

遊泳は禁止されていますが、手漕ぎボートで湖を楽しむことや、冬にはアイススケートをすることも可能。湖の名前は、大昔に生息していたビーバーに由来しているのだと

Alexis Jemus - Google マップ



モントリオール美術館



モントリオール美術館はモントリオール芸術協会として1860年に設立され、1879年に開館したカナダで最も古い美術館で、モントリオール屈指の人気のスポットです。

絵画や彫刻、版画や写真、装飾美術などコレクション数は4万3000点以上を誇り、膨大なコレクションは5つのパビリオンに配置された6つの大きなセクション（世界の考古学と文化、古代および現代の国際芸術、ケベックとカナダの芸術、国際現代美術、装飾芸術とデザイン、グラフィックと写真の芸術）に分かれて展示されています。

モントリオール美術館



モントリオール美術館 - Google マップ



モントリオール美術館 - Google マップ



聖ジョゼフ礼拝堂



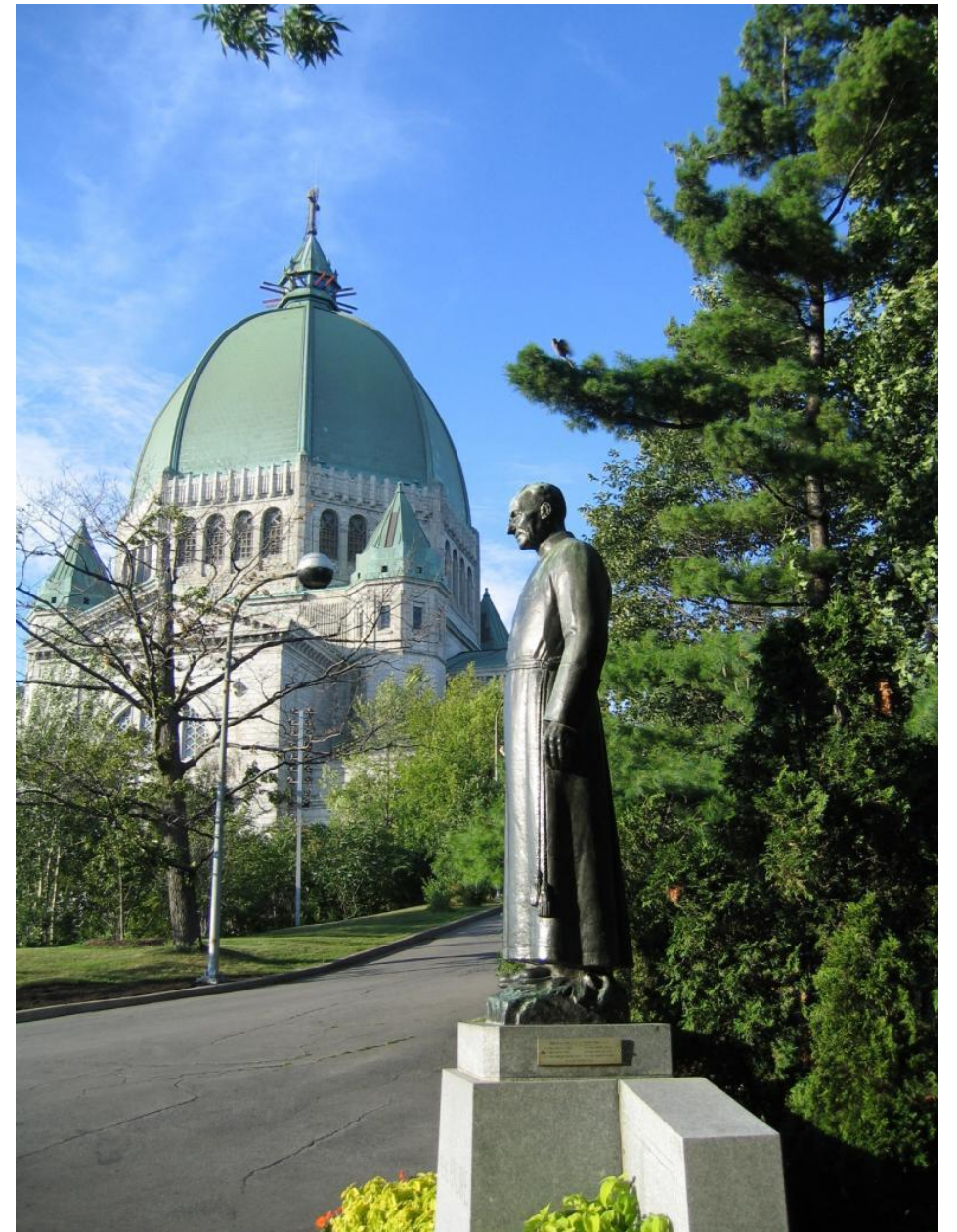
ダウンタウンの西側、モンリオールを見渡せる小高い丘、モン・ロワイヤルの斜面に建つ聖ジョゼフ礼拝堂はカトリックの礼拝堂です。

病気やけがで苦しむ多くの人々を救った奇跡の人といわれるアンドレ修道士が、セント・ジョセフに捧げた聖域で、年間200万人以上が訪れる巡礼地です。

礼拝堂は、巨大なドームと白壁が印象的なイタリア・ルネサンス様式の建物で、通りから建物の入口までは長い階段になっています。

3列に分かれている階段の中央には、信者たちが祈りをささげながら上がるための木製の階段が設けられています。

聖ジョゼフ礼拝堂



旧 鉾



セントローレンス川沿いに広がる旧港は各国からの豪華クルーズ船が到着する世界最大級の内陸港です。アレキサンドラ、キングエドワード、ジャック・カルチェ、クロックタワーの4つの埠頭で構成されていて、大観覧車をはじめ、モントリオール・サイエンスセンター（科学博物館）やジップライン、屋内遊技場などが設けられています。いちばんのおすすめは、2017年に誕生したカナダで最も高い大観覧車、ラ・グラン・ルー・ド・モレアルです。高さは、20階建ての建物に相当する約60m。歴史的建造物が建ち並ぶ旧市街（オールド・モントリオール）の全景、雄大なセントローレンス川、晴れた日には約30km先まで見えるそうです。

旧鉱 休日はモントリオールっ子でにぎわう人気エリア



マギル大学



モン・ロワイヤルの麓にあるマギル大学は、1821年創立の英語系公立大学で、国内有数の名門校のひとつです。

大学名は毛皮貿易で財を築いたイギリス人、ジェームズ・マギルに由来しており、彼が残した膨大な遺産によって、マギル大学の前身であるマギルカレッジは設立されました。

フランス語圏であるモントリオール市内にキャンパスがありながら、授業はすべて英語で行われ、キャンパス内の公用語も英語になっています。

大学の入学基準はとても厳しく、最初に設置された医学部は国内で最も歴史が古い看板学部です。また、医学と化学における研究も有名です。

マギル大学 - Google マップ



モントリオール植物園



モントリオール植物園（ジョルダン・モントリオール植物園）は、10の温室と20以上のテーマ別庭園で構成されている北米最大の植物園のひとつ。

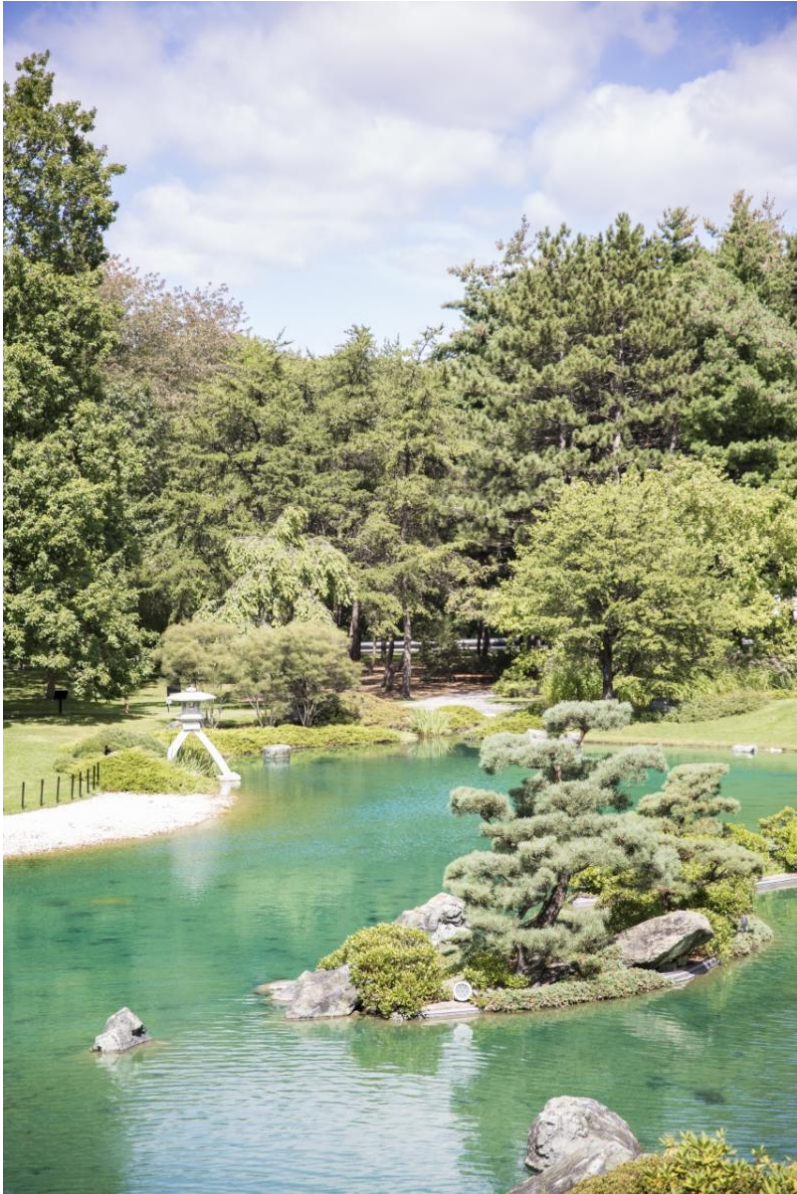
広大な植物園なので全てを見るには丸1日かかります。ポイントを絞ってゆっくり楽しみましょう。

まず、屋外ガーデンで最も人気のバラ園は必見！

バラの歴史と発展を示す2つのセクションに分かれていて、「モントリオール」と名付けられたバラも観賞できます。

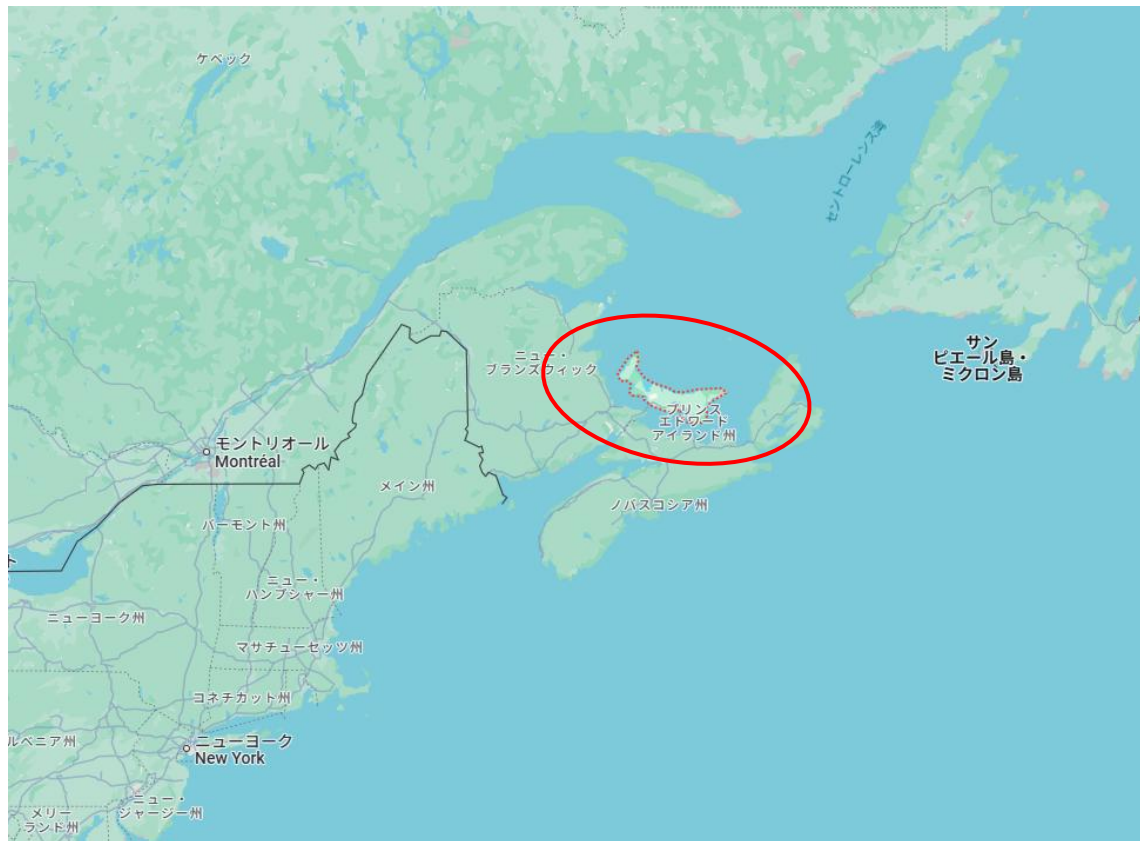
バラ愛好家にとって気になる、モントリオールの厳しい冬をバラたちはどうやって乗り越えているのか？という疑問にも答えてくれます。

各国の庭園



・プリンス・エドワード島

日本で2017年5月6日に全国ロードショーとなった映画「赤毛のアン」の舞台、そして故郷がカナダ東部にあるプリンスエドワード島です。



プリンスエドワード島は、セントローレンス湾に浮かぶ島で東京都の約3倍の面積があります。先住民「ミックマック族」は「波間に浮かぶゆりかご」を意味する「アベグウェイト」と呼んでいました。カナダが独立する際に「建国会議」が開かれた由緒ある土地でもあります。人口は約14万人。

拠点の町はシャーロットタウン。1720年にフランス人兵士が入植して造られた町で、漁業・造船業・木材業で栄えました。現在はプリンスエドワードアイランド州の州都になっています。人口は約35000人。

プラトー モン ロワイヤル
若者に人気のおしゃれエリア



ダウンタウンの北西、シェルブルックス通りとヴォン・オンヌ通り、パルク通りとイヴェルヴィル通りに囲まれたあたりのエリアが、プラトー モン ロワイヤルと呼ばれる地区です。

20世紀の初頭まではフランス系労働者階級の人々が多く暮らす地区でしたが、現在はおしゃれなカフェやレストラン、ナイトスポットや雑貨店などが軒を連ね、若いモントリオールっ子が大好きな場所になっています。

本格的なギリシャ料理やメキシコ料理をはじめ、シリアやポルトガルといった移民の国ならではの珍しいレストランも人気です。

エリア内にはユダヤ人コミュニティやポルトガル人コミュニティもあり、毎年6月にはポルトガルフェスティバルが開催されます。

世界の女王マリア大聖堂



ダウンタウンの中心に建つ世界の女王マリア大聖堂は、ローマのバチカン市国にあるサンピエトロ大聖堂を模して建てられたカトリック教会です。

ケベック州では、3番目に大きなカトリックの教会です。

1870年に始まった建設工事は、資金不足や金融危機の影響でたびたび中断したため、大聖堂が開設したのは旧大聖堂の火災から42年後のイースターの日、1894年3月25日でした。

聖堂内ではねじれた柱に支えられた祭壇を覆う金箔の天蓋を見てください。

これはサンピエトロ大聖堂のものを模して造られました。回廊にはモンリオールの歴史を物語る絵画が飾られ、白と金の木製の格間も印象的です

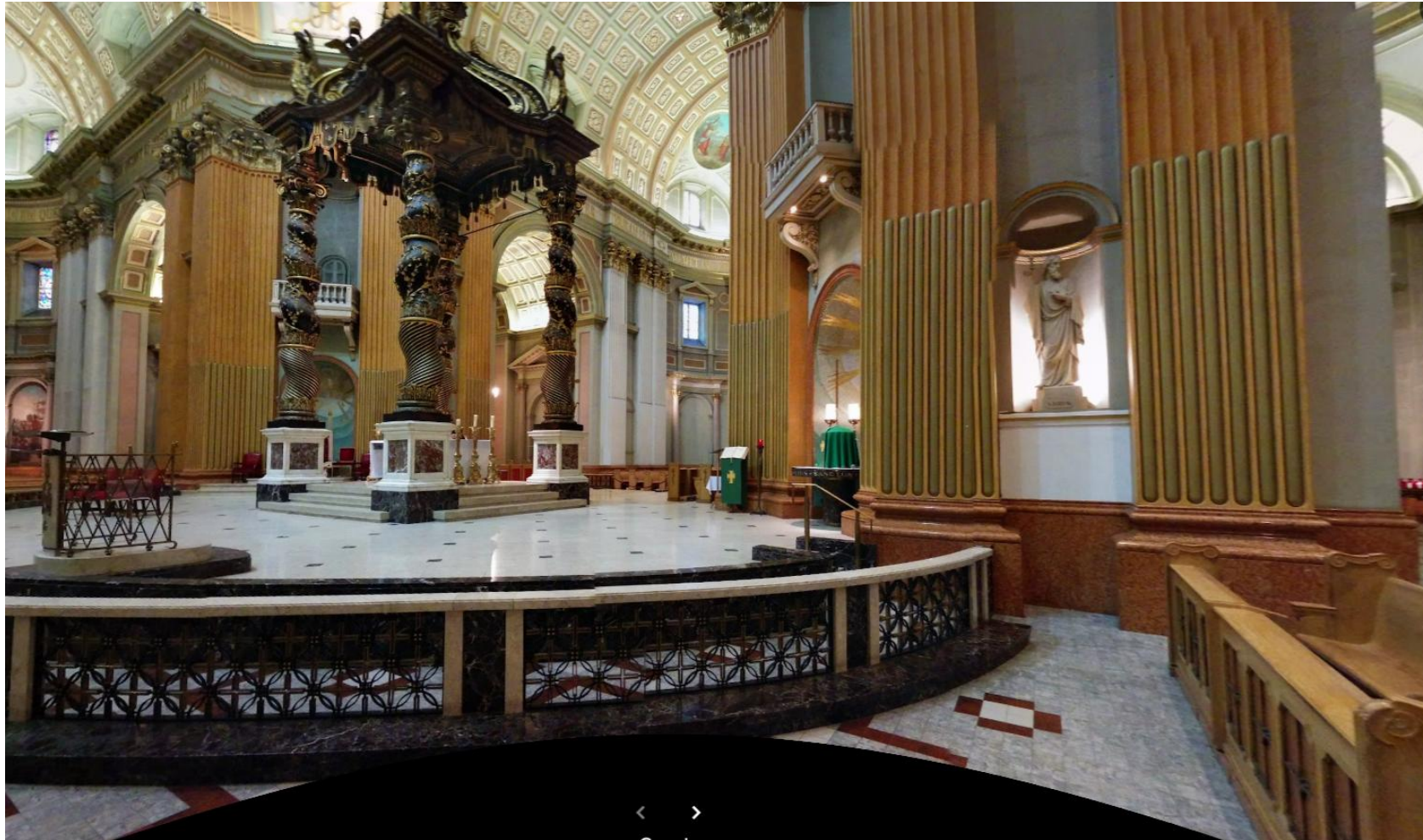
世界の女王マリア大聖堂



この大聖堂で最初に注目したいのはファサード上部に立つ13人の像です。これはモントリオールにある13の教区の守護聖人の像で1900年に設置されました。

夜にはライトアップされ、高層ビルに囲まれたダウンタウンに13人の像が浮かび上がります。

マリー・レーヌ・デュ・モンド大聖堂 - Google マップ

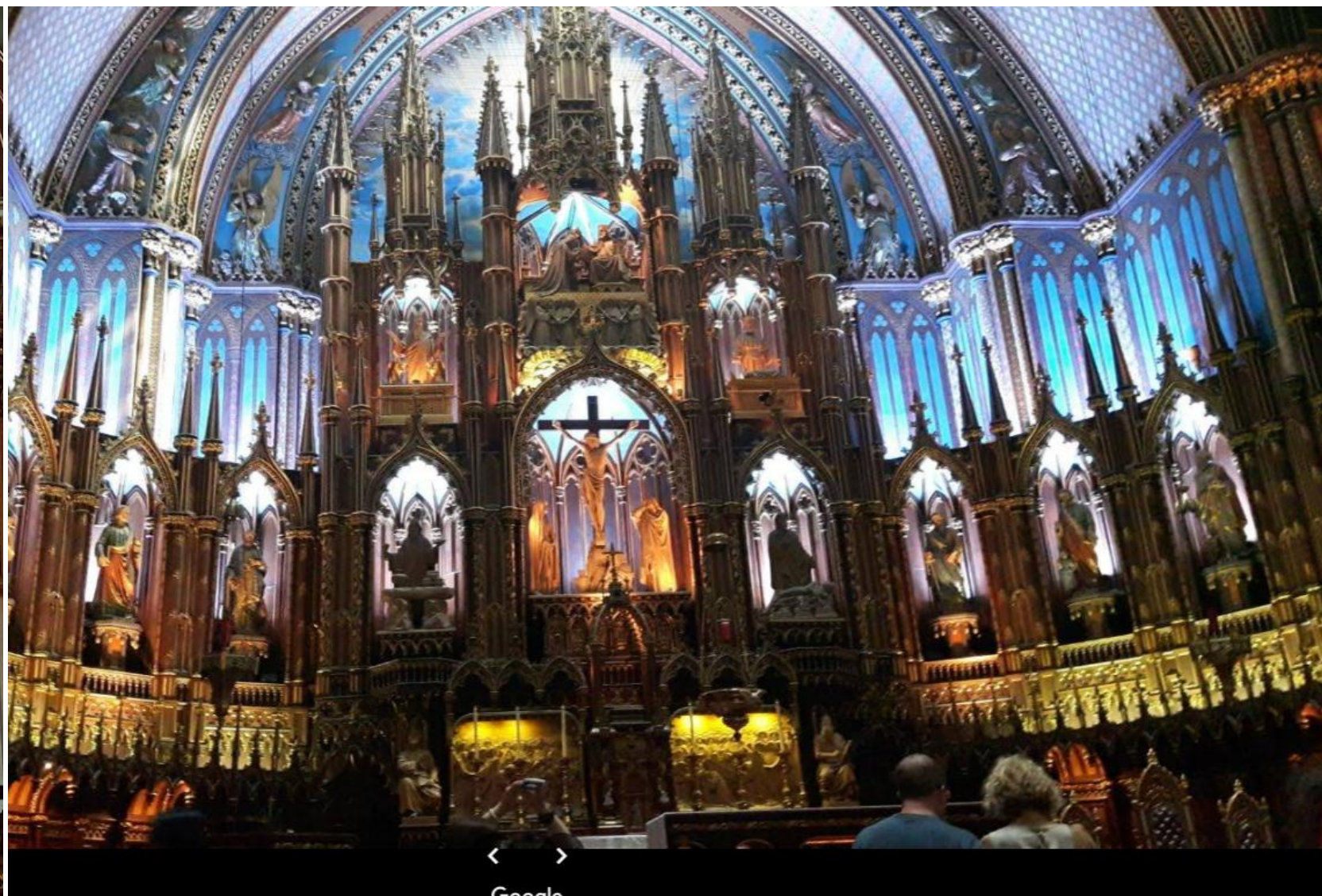




Mary, Queen of the World Cathedral - Google マップ



Mary, Queen of the World Cathedral - Google マップ



コンフェデレーションブリッジ



島の風景全体



1997年に完成したニュー・ブランズウィック州とプリンスエドワード島を結ぶ全長13Kmの橋。凍った海の上を渡る支柱橋では世界最長として知られており、冬の過酷な環境にも耐えられる設計になっています。

パッチワークのような田園風景、赤土のじゃがいも畑、風に揺れる緑の草地、果てしない青い海の鮮やかなコントラスト。どこを切り取っても美しい景色が広がります。



●5. 赤毛のアンの舞台 / L・M・モンゴメリゆかりの地



photo: Tourism PEI / Paul Baglole

赤毛のアンの作者ルーシー・モード・モンゴメリのゆかりの地、**北岸のキャベン
ディツシュ**の主な観光名所は以下になります。

赤毛のアン

- 舞台は、カナダのプリンス・エドワード島（Prince Edward Island）です。作者ルース・モード・モンゴメリが実際に暮らしていた場所で、物語の舞台「アヴォンリー村」は、彼女の故郷キャベンディッシュ村をモデルにしています。
- 現在も、物語に登場する「グリーン・ゲイブルズの家（Green Gables House）」が保存されており、観光名所として世界中のファンが訪れる人気のスポットとなっています。赤毛のアンの美しい自然描写は、この島の風景をもとにして描かれています。
- 赤毛のアンは、空想好きでおしゃべりな孤児アン・シャーリーが、手違いでグリーン・ゲイブルズに引き取られたことから始まる物語。
- 最初は戸惑うマリラとマシュウだったが、アンの純粋さに心を開いていく。
- アンは髪の色を気にして髪染めに失敗したり、親友ダイアナを誤って酔わせてしまふなど騒動を起こすが、学業に励み、ギルバートとの友情を深めながら、次第に心優しい娘へと成長していく感動の物語です。

ワールドツアーSP カナダの、その奥へー 美しい島・プ
リンス・エドワード島 Vol.1 赤毛のアン世界



PEI国立公園 / 海岸 / 灯台



鉄分が多く含まれている柔らかい赤土で島全体が覆われているのがPEI。

北海岸にある国立公園の赤土の断崖はとても迫力があり、人気の写真スポットとなっています。

また、どこまでも続いているかのような美しい海岸線を楽しむことができ、海岸線沿いには個性豊かな灯台が点在しています。

■ モンゴメリの生家



photo: Tourism PEI / John Sylvester

赤毛のアン著者の、ルーシー・モード・モンゴメリが生まれた家を訪れることができます。現在はモンゴメリにゆかりのある品々が展示されています。

■ 恋人の小径



photo: Tourism PEI / John Sylvester

グリーン・ゲイブルズ・ハウスの裏手の森に続く道です。木々がアーチ状に茂る静かな雰囲気があります。物語ではアンと親友のダイアナが学校へ行く道となっています。同じく物語に登場するお化けの森も近くにあります。

■ モンゴメリの墓



夫、ユーアン・マクドナルド牧師とともに眠るお墓が共同墓地内にあります。

■ フレンチリバー



photo: Tourism PEI / Stephen DesRoches

入り江の向こうに並ぶ色とりどりの漁師小屋、緑の畑、赤い土、青い空のコントラストが美しい撮影スポット。

■ グリーンゲイブルズ博物館 / 銀の森屋敷



photo: Tourism PEI / John Sylvester

別名「銀の森屋敷（シルバリーブッシュ）」。モンゴメリがよく訪ねた伯母の家で、現在は博物館となっています。モンゴメリが生きていた当時の家具、個人の所有品などが展示されており、彼女が実際に挙式をした広間でウェディングをすることもできます。

■ ケンジントン駅舎

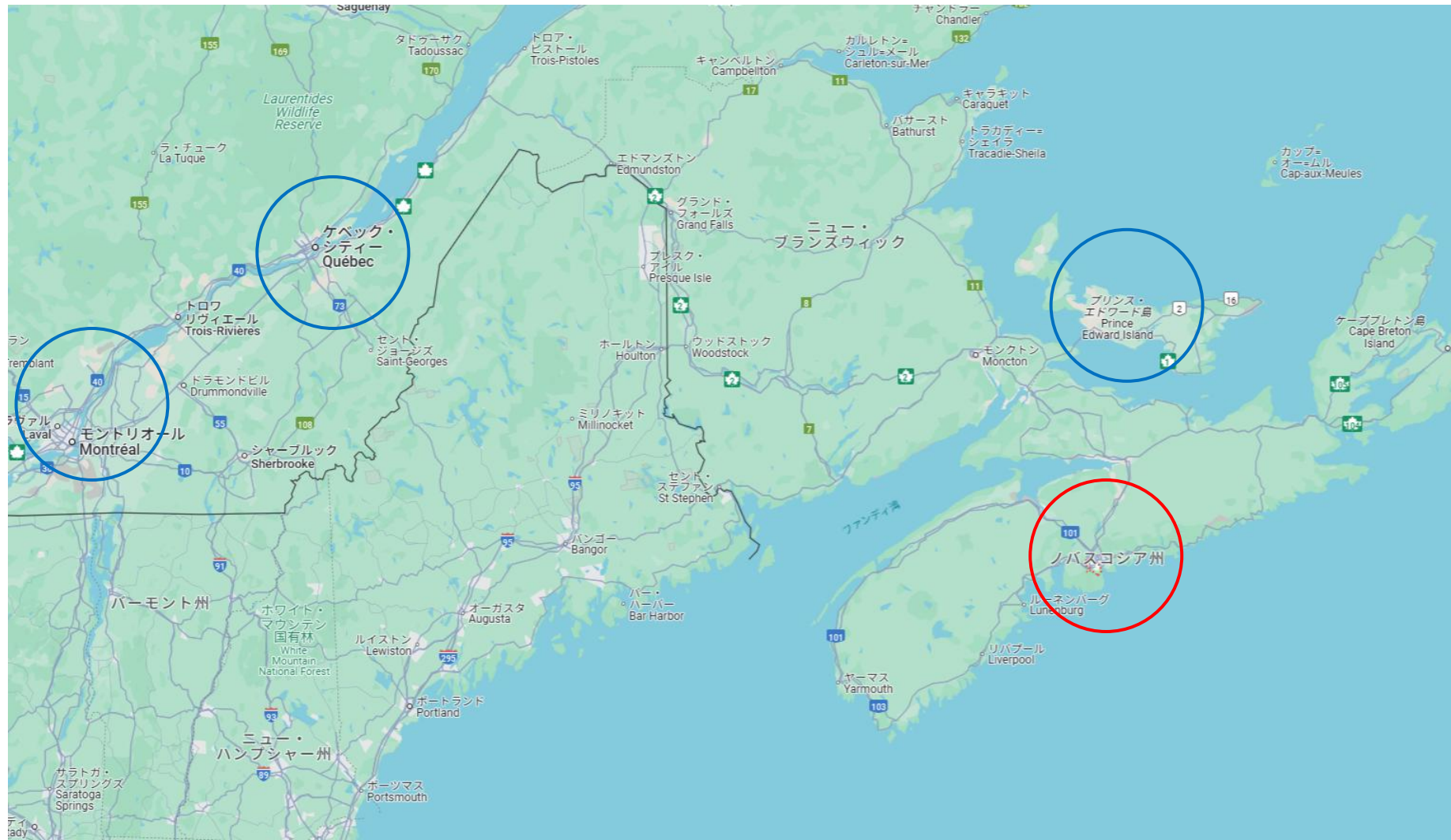


photo: Tourism PEI / John Sylvester

かつて島の東西を結んでいた鉄道。島の唯一の公共交通機関として利用されていましたが、1989年に廃止されました。ケンジントン駅舎は島に残る数少ない駅舎の1つ。モンゴメリもこの鉄道を利用していました。



ハリファックス



ハリファックスってどんな街

ハリファックスはカナダ南東部にあるノバスコシア州の州都
1912年に起こったタイタニック号沈没事件の現場に近いので、町には墓地や慰霊碑などもあります。
また新垣結衣主演の映画『ハナミズキ』のロケ地の1つにもなりました。

見所は？ハリファックスのランドマークと言えば、ハリファックス・シタデル。
星形の要塞で函館の五稜郭とよく似ていることから、この二つの都市は姉妹都市関係を結んでいます。
その他カラフルな家々が立ち並ぶ港町、世界遺産ルーネンバーグ旧市街も必見。

ハリファックス



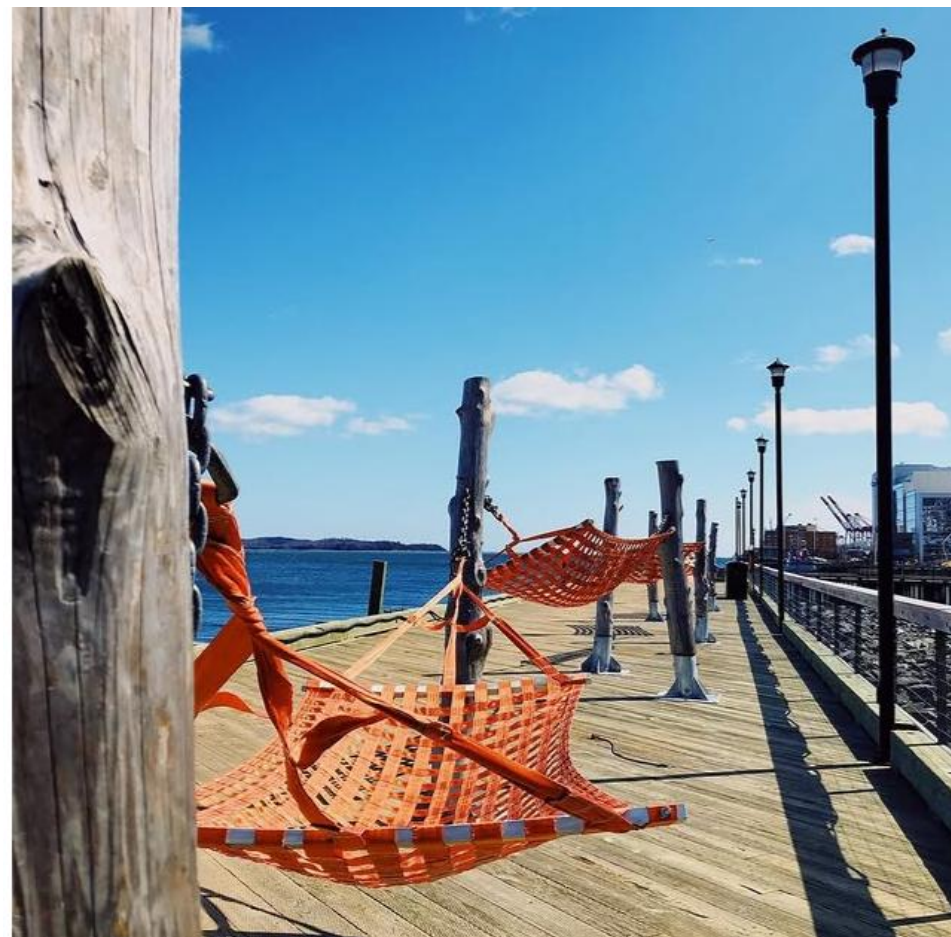
ハリファックスはカナダ南東部にあるノバスコシア州の州都。遊覧船も運航しているので、海の上から街の景色をゆっくり眺めるのもおすすめ。イギリスの影響を多く受けている街でもあり、英国風パブやビール工場などがあるのも特徴。港町ならではの新鮮なシーフードを使用した料理も魅力の一つになっており、グルメを楽しむのにも最適な街です。

ハリファックス

[Google Earth](#)



ハリファックス

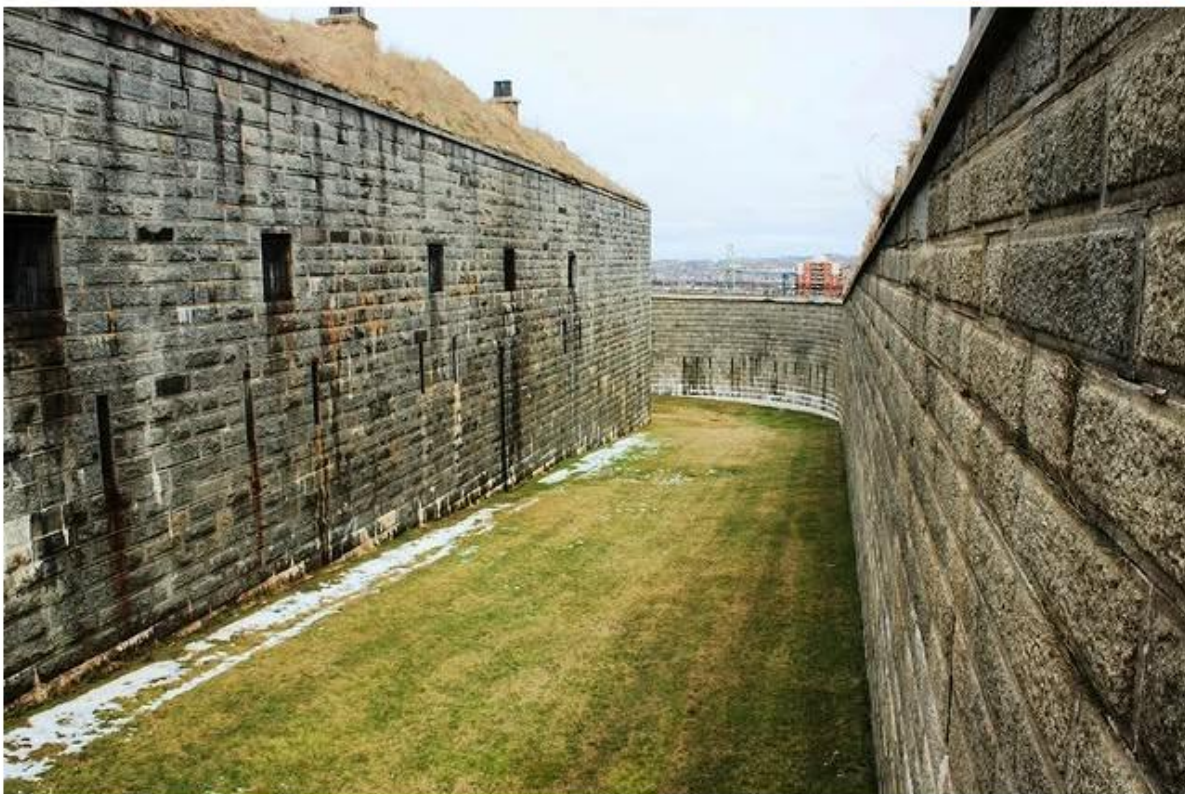


■ハリファックス・シタデル国定史跡



nathalie.dauteuil
Halifax Citadel National Historic Site

プロフィールを表示



ハリファックス・シタデル国定史跡は、1749年に築かれた8角形の星形要塞です。

イギリス軍がフランス軍に対して築いたもので、1856年に現在の形になりました。

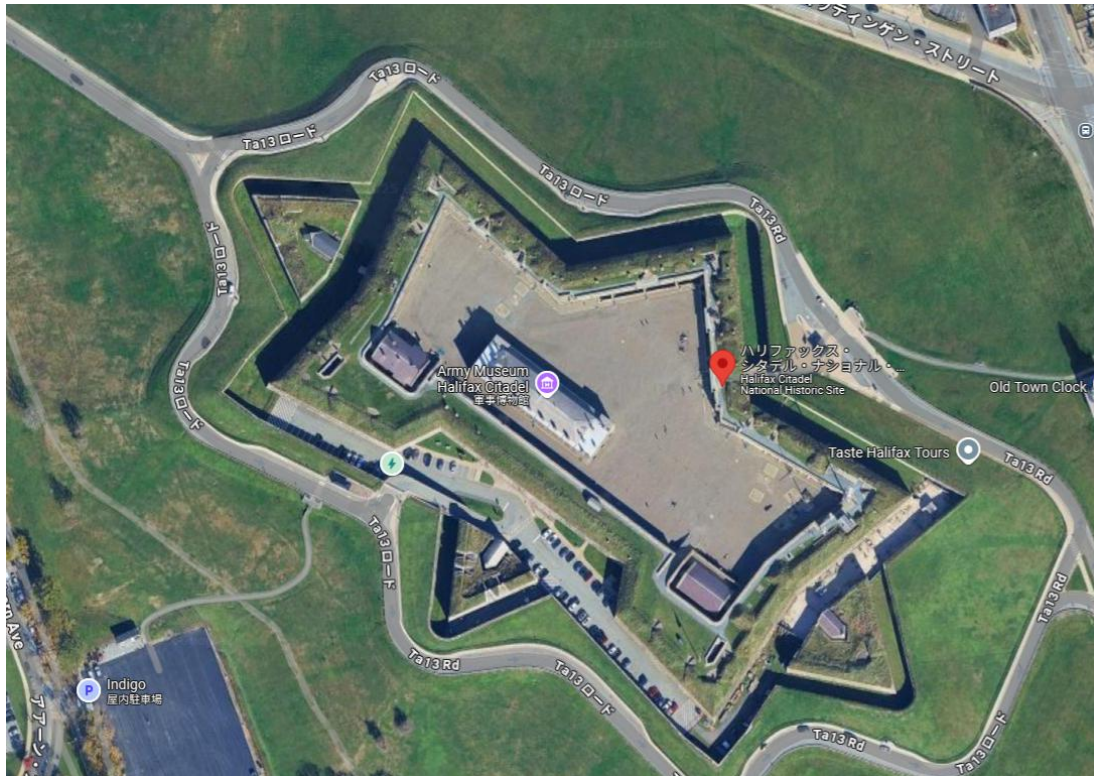
ハリファックスは大西洋岸の主要な場所で、イギリスにも一番近い港です。

別名は「ジョージ砦」、1982年には同じように星形の要塞を持つ北海道函館市の姉妹都市。

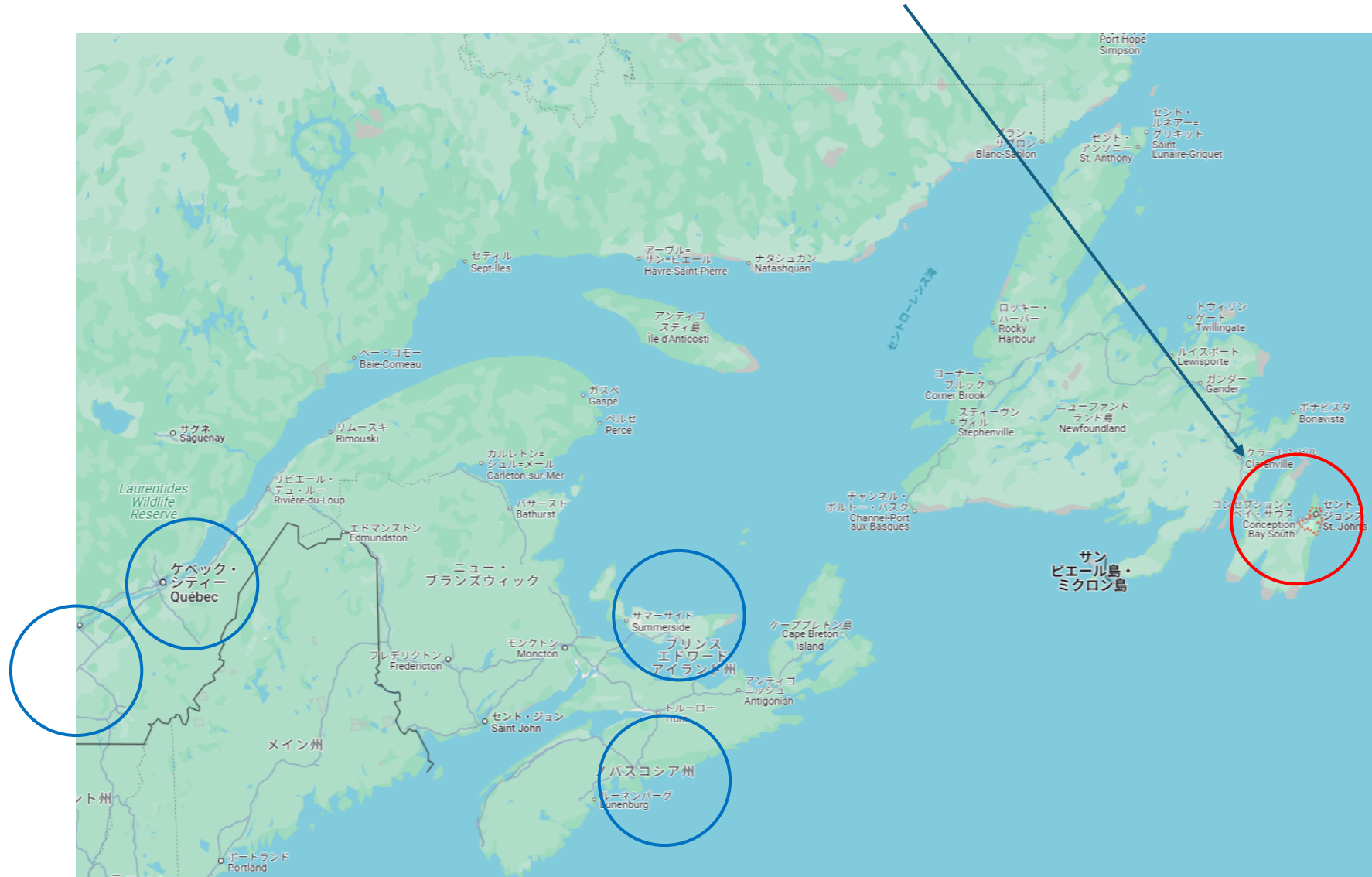
都市を守るための要塞ですが、実際には芝生が広がる広々とした大地で眺めも素晴らしいスポットです。

正午には兵士による大砲を鳴らすセレモニーが行われています。

ハリファックス・シタデル・ナショナル・ヒストリック・サイト - Google マップ



セントジョーンズ

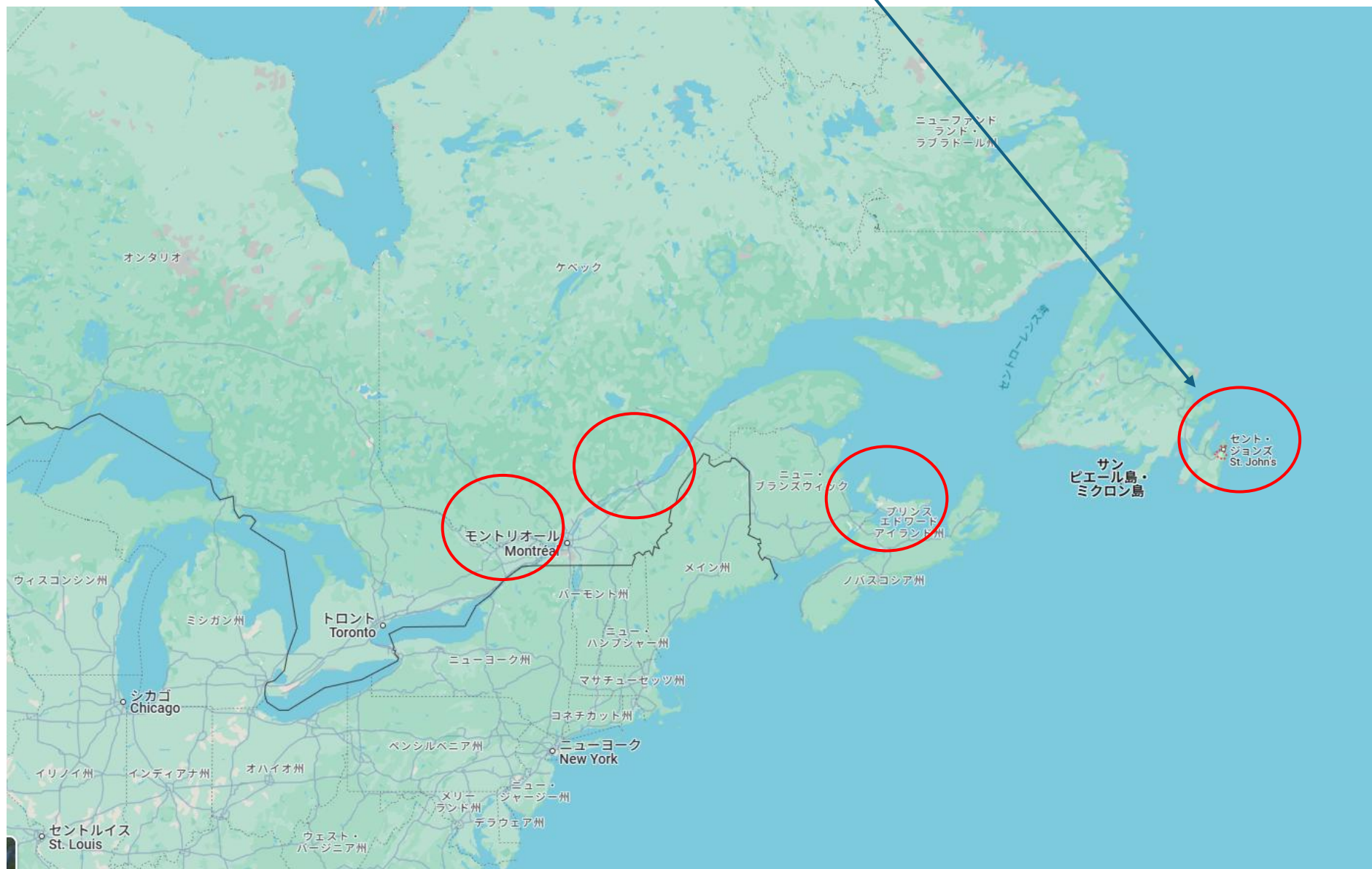


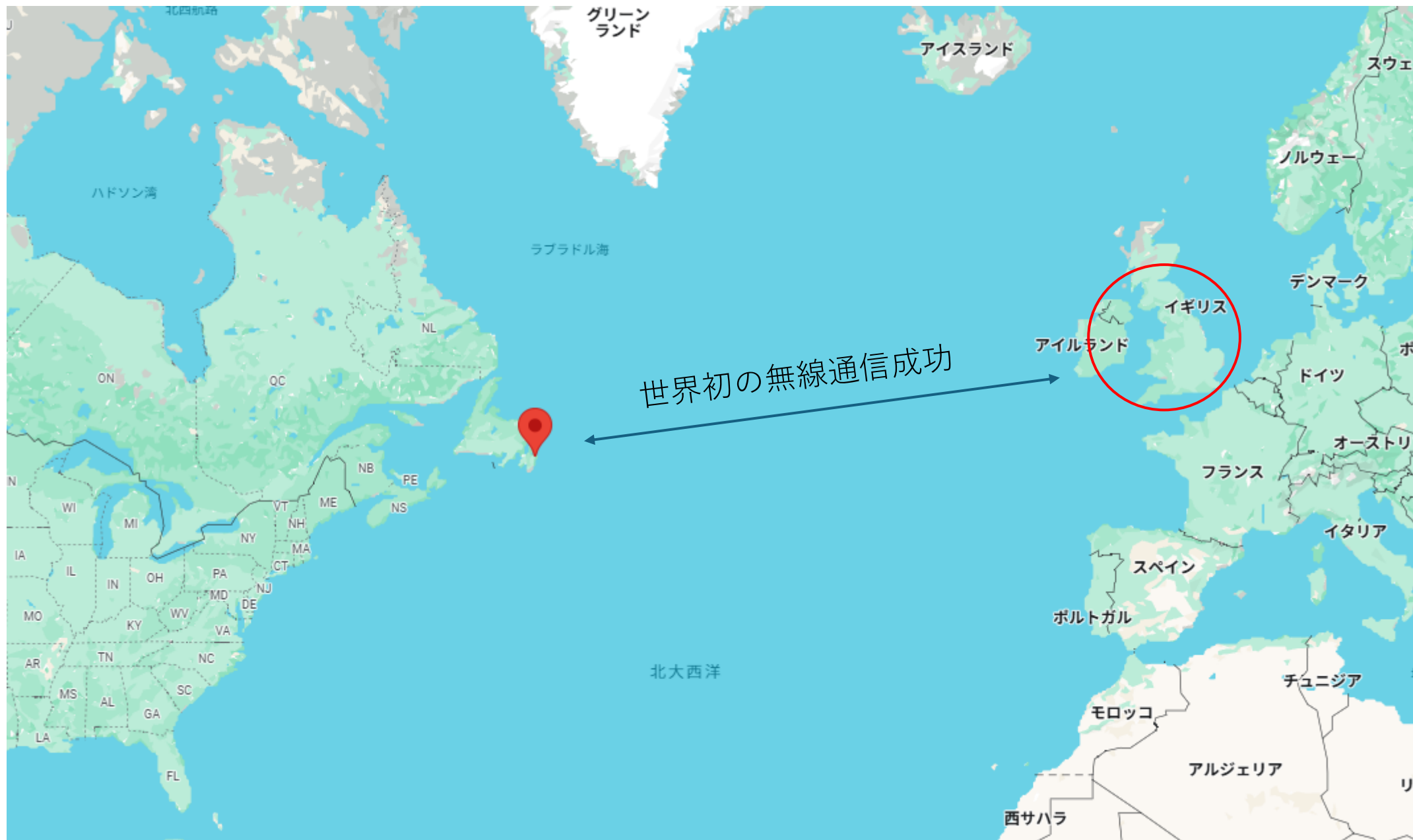
セント・ジョンズ



セントジョンズは、カナダの東海岸に浮かぶニューファンドランド島東端近くの港町です。北米最古のイギリス人入植地ともいわれ、また世界一霧の深い町としてギネス認定されている町でもあります。町並みにはイギリスの自治領だった歴史の面影がみられ、パブが多いのもその名残。カナダの歴史を語るうえで、ニューファンドランド島のセントジョンズは欠かせない場所といえます。今回は、カナダ有数の古都と呼ぶべきセントジョンズ観光で、必ず訪れたいスポット10選をご紹介します！

セント・ジョンズ - Google マップ





シグナルヒル国定史跡



ここは、岬の丘にあり、セントジョンズの町と入り江を見渡せる重要な場所。イギリスとフランスが大陸の支配圏を争った18世紀の七年戦争の舞台だった。丘の上には、1897年に建てられたカボット・タワーがあり、1901年にマルコーニが世界初の大西洋横断無線通信の実験を行った。約3,500kmも離れたイギリスのコーンウォールから送られたモールス信号を、シグナルヒルのカボット・タワーで受信することに成功したといわれている。通信技術の歴史に関する博物館もあり、クジラを見ることがもできる。

カボット・タワー

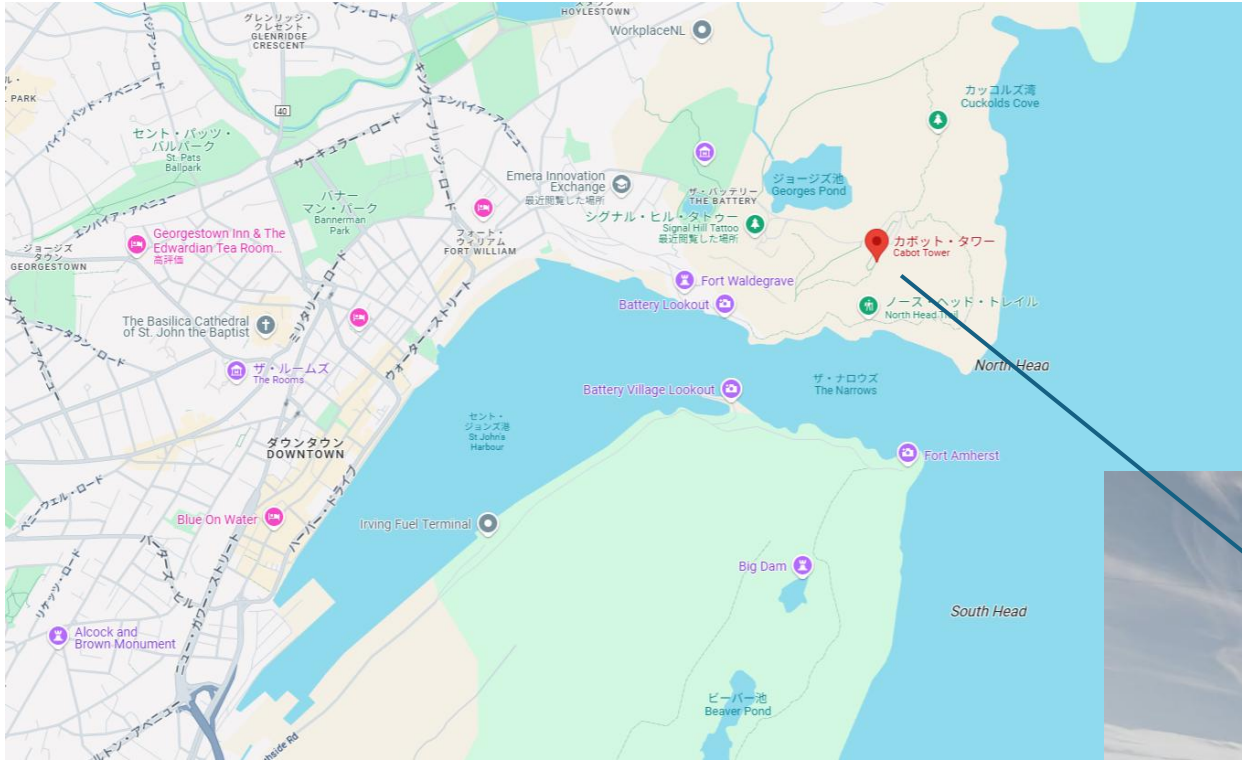


シグナルヒル国定史跡公園にある、ゴシック様式の石造の塔です。

タワーの名前にもあるカボットとは、ニューファンドランド島に初めて上陸したヨーロッパ人とされるジョン・カボットにちなんだもの。

島の発見から400周年を記念して1897年に建設されたもので、セントジョンズの町のシンボリック的存在にもなっている。

カボット・タワー - Google マップ



カボット・タワー - Google マップ



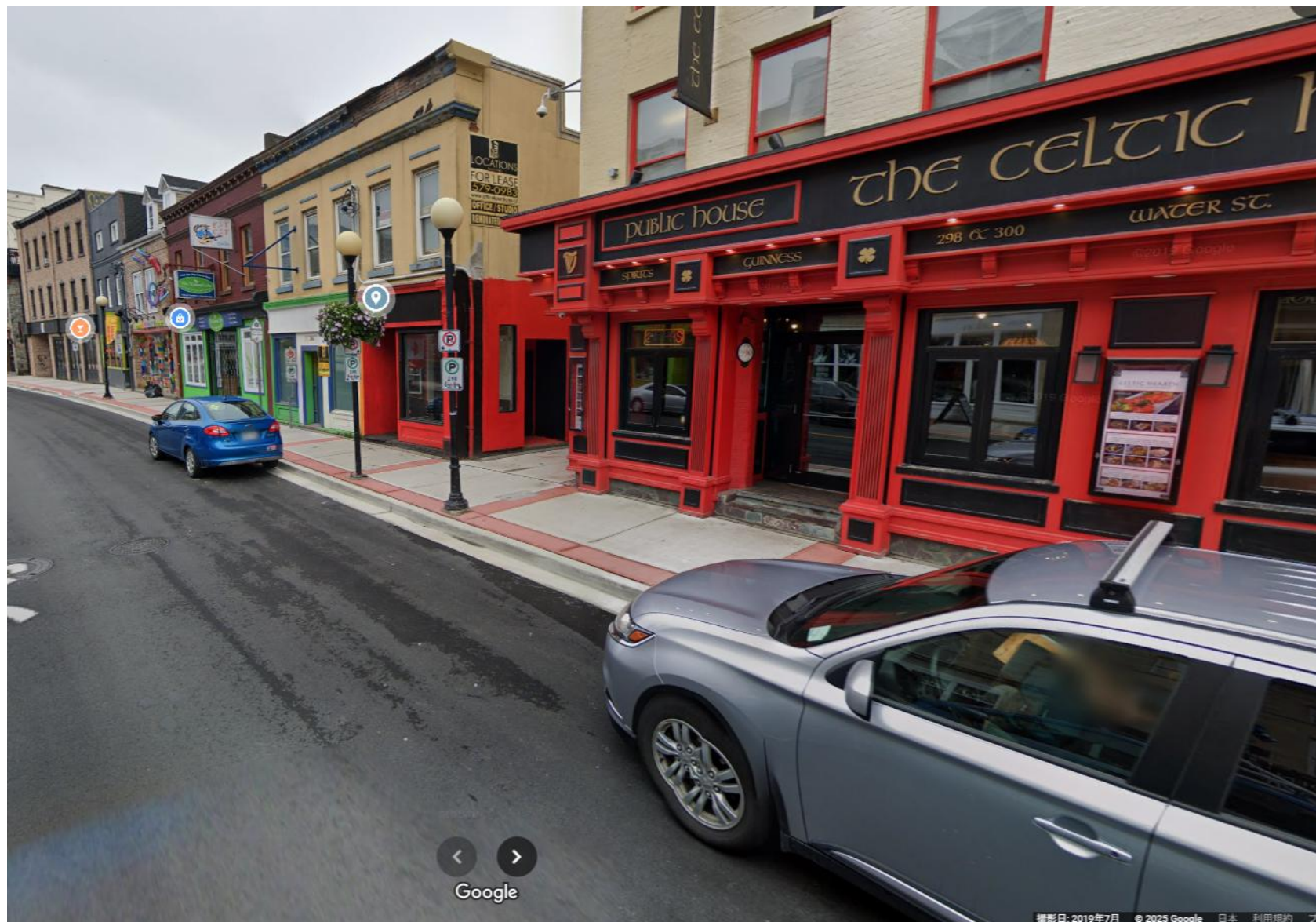
Google Earth



シグナル・ヒル・ロード - Google マップ



299 ウォーター・ストリート - Google マップ



ハーバー・ドライブ - Google マップ



タイタニック 博物館 %e3%80%80セントジョーンズ - 検
索



ジョンソン ジオ センタ



ジョンソン ジオ センター - Google マップ



タイタニックの展示

スピア岬灯台国定史跡



スピア岬灯台国定史跡は、北米最東端の岬。現在、スピア岬には1836年と1955年に建てられた2つの灯台があり、古い方は、現存する灯台としてはニューファンドランド内で最古のもの。

この古い方の灯台は、博物館として観光客に開放されている。外観は灯台というより普通の家のようにも見え、19世紀の灯台の雰囲気をしっかり味わうことができる。岬の前に広がる大西洋では、運が良ければ北極圏から流れ着くアイスバーグ（冰山）が見られるかもしれません。

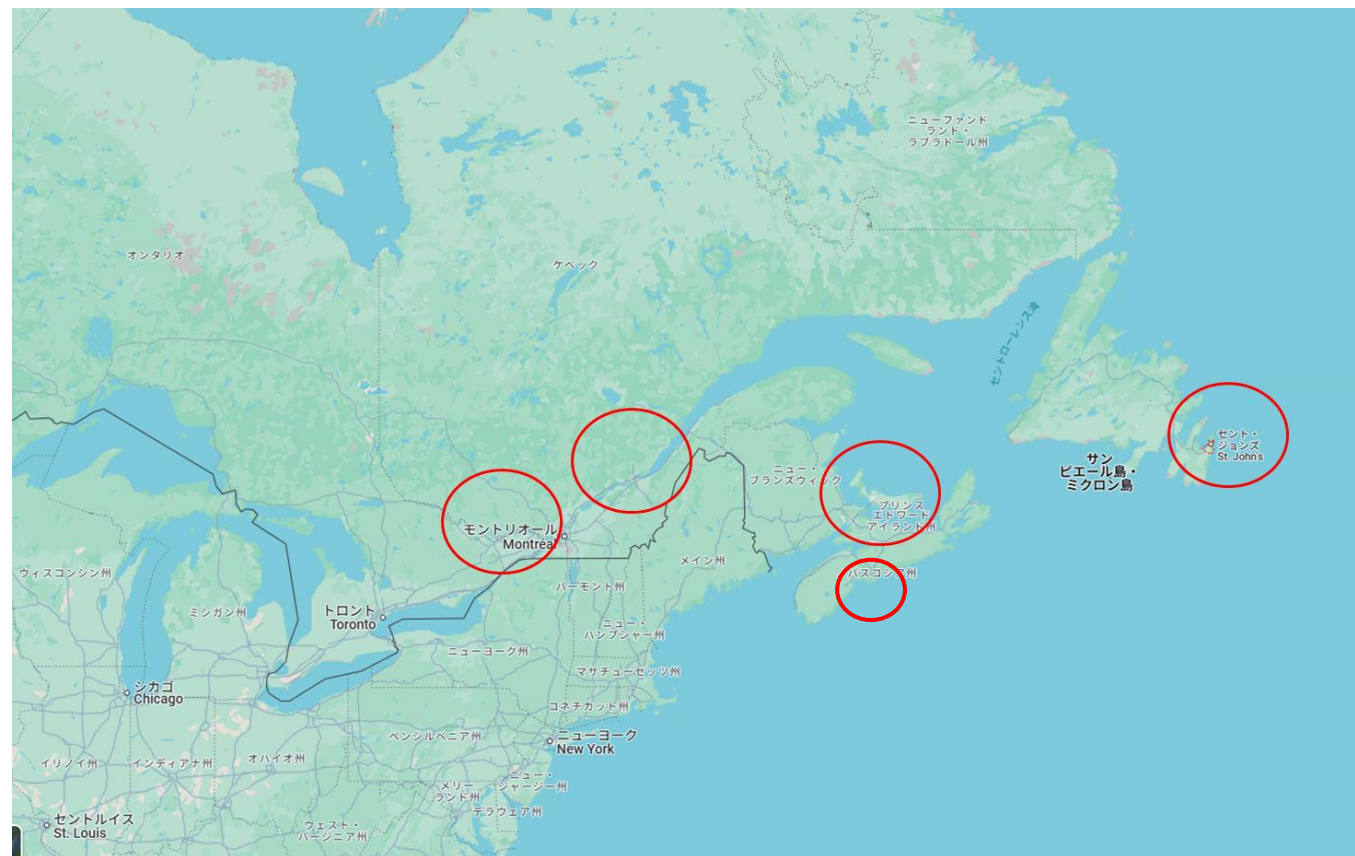
ケープ・スピア灯台国定史跡 - Google マップ



2025/6/25 (水)
インターネット世界旅行

インターネット世界旅行 カナダ東部地方の巻

終わり



吉岡 芳夫